



RIKEN TECHNOS

リケンテクノスグループ
RIKEN TECHNOS GROUP

CSR報告書

Corporate Social Responsibility Report

2017



リケンテクノス株式会社

編集方針

リケンテクノスは2002年10月に「環境報告書」を、2005年よりこれを「環境経営報告書」として、環境に主眼をおいた企業としての取り組みと成果を公表してまいりました。2007年度からは社会的側面を含め「CSR報告書」とし、企業の社会的責任(CSR: Corporate Social Responsibility)の観点からリケンテクノスグループの経営理念実現に向けた取り組みと、その成果としてどんな価値を生み出しているのかをわかりやすく報告することを心がけています。報告するにあたり、ISO26000の内容やSDGsとの対照についてアイコンを提示し、社会的な課題と弊社取り組みの関連について、よりご理解いただけるようにしました。

「CSR報告書」の第11号となる本報告書は、リケンテクノスグループの技術が、皆様の生活の中でどのように活かされているのか特集でご紹介します。3か年中期経営計画において「すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指して」リケンテクノスグループが取り組んでいる内容をご理解いただければ幸いです。

▶ 報告書の対象範囲

報告対象期間

2016年4月1日～2017年3月31日

なお、本報告書には一部2017年度の活動内容も含んでいます。

報告対象範囲(所在地は18～21ページをご覧ください)

本報告書における環境報告の対象範囲は、リケンテクノス株式会社およびその連結子会社下記19社です。項目によっては連結子会社を含まない場合もあります。

対象連結子会社名

- 進興電線株式会社
- 株式会社協栄樹脂製作所
- リケンテクノスインターナショナル株式会社
- リケンケミカルプロダクツ株式会社
- リケンファブロ株式会社
- RIKEN (THAILAND) CO., LTD.
- RIKEN ELASTOMERS (THAILAND) CO., LTD.
- PT. RIKEN INDONESIA
- 上海理研塑料有限公司
- 理研食品包装(江蘇)有限公司
- RIMTEC CORPORATION
- RIKEN ELASTOMERS CORPORATION
- RIKEN VIETNAM CO., LTD.
- 理元(上海)貿易有限公司
- RIKEN TECHNOS INTERNATIONAL KOREA CORPORATION
- RIKEN TECHNOS INTERNATIONAL VIETNAM CO., LTD.
- RIKEN AMERICAS CORPORATION
- RIKEN U.S.A. CORPORATION
- RIKEN TECHNOS EUROPE B.V.

報告対象分野

本報告書はリケンテクノス株式会社および連結子会社の経営・社会・環境に関する取り組みを報告しています。

▶ 参考にしたガイドライン

本報告書の構成については、以下を参考に作成しました。

- 「環境報告書ガイドライン(2007年版)」(環境省)
- 「環境会計ガイドライン2005年版」(環境省)

▶ 持続可能な開発目標(SDGs)



持続可能な開発目標(SDGs)とは、「Sustainable Development Goals」の略称です。このSDGsは、2015年9月の国連サミットで150を超える加盟国によって採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられている持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットから構成されており、2030年において世界のありたい姿を示しています。リケンテクノスグループもこのような動きを参考にしつつ国際社会の一員として持続可能な社会を目指す取り組みを強化してまいります。

RIKEN TECHNOS GROUP Corporate Social Responsibility

表紙について

リケンテクノスのコーポレートマークと、上海理研塑料有限公司および理元(上海)貿易有限公司のある中国上海市に咲き誇る白玉蘭という花を融合したデザインにいたしました。

コーポレートマークは2001年の創業50周年を機に社名変更と同時に一新したもので、RIKEN TECHNOSの“R”をベースに、コア事業であるコンパウンドとフィルムのイメージを組み合わせ、信頼感を表し、未来へ羽ばたくしなやかな翼の形を表現しています。

リケンテクノスグループは、持続可能な社会の実現をステークホルダーの皆様とともに考え、行動していきます。



発行時期

2017年9月(次回発行予定 2018年9月)

発行経歴

年度	発行年月	名称
2005	2005年10月	環境経営報告書
2006	2006年10月	〃
2007	2007年10月	CSR報告書
2008	2008年10月	〃
2009	2009年10月	〃
2010	2010年10月	〃
2011	2011年10月	〃
2012	2012年10月	〃
2013	2013年9月	〃
2014	2014年9月	〃
2015	2015年9月	〃
2016	2016年9月	〃

Report 2017

目次

編集方針	2
------------	---

TOP Message	4
-------------------	---

特集

すべての生活空間に快適さを提供する リーディングカンパニーを目指して	8
---	---

リケンテクノスグループの概要

リケンテクノスグループ概要	16
国内・海外ネットワーク	18
製品のご紹介	22
コーポレート・ガバナンス	24

社会性報告

お客様とのかかわり	26
株主様とのかかわり	29
お取引先様とのかかわり	30
地域の皆様とのかかわり	32
従業員とのかかわり	38

環境報告

環境管理活動	44
活動結果の概要	46
有識者の意見	53
編集後記	53





プロフィール

常盤 和明(ときわ・かずあき)

1983年(昭和58年)千葉工業大学工学部卒、同年理研ビニル工業(現リケンテクノス)入社。07年米国RIKEN ELASTOMERS CORPORATION 社長、11年コンパウンド事業部副事業部長兼コンパウンド営業部長、13年6月取締役経営企画室長。16年4月1日代表取締役社長執行役員に就任。神奈川県出身、56歳。

すべての生活空間に快適さを提供する リーディングカンパニーを目指して

▶ 国際社会の一員としての責任

持続可能な社会を目指して

2015年9月の国連サミットにおいて、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。アジェンダには、国連の全加盟国に適用される普遍的目標としてSDGs(エスディーゼーズ／Sustainable Development Goals)が掲げられています。このSDGsは、信頼できるエネルギーへのアクセス、持続可能な経済成長と働きがいのある雇用、持続可能なエネルギーの供給、持続可能な産業化の促進およびイノベーションの推進、気候変動の軽減などを含む17の目標から成り、2016年から2030年までに取り組んでいく国際目標です。日本政府は2016年5月に内閣総理大臣を本部長とするSDGs推進本部を設置するなど、国をあげてSDGsの実施に向けて動き始めています。このような動きを参考にしつつこれまで通りに、リケンテクノスグループは国際社会の一員としての責任を果たすべく、持続可能な社会を目指す取り組みを強化してまいります。

すべてのステークホルダーの皆様と共に

将来にわたり実りある豊かな社会を維持するため、これまでもリケンテクノスグループは、お客様、お取引先様、従業員、株主様、地域の皆様などすべてのステークホルダーの皆様と共に歩み、社会の課題解決に努めてまいりました。リケンテクノスグループは、様々なかかわりを通じ、ステークホルダーの皆様と信頼関係を築きながら、今日まで存続・発展することができました。そして、これからもその姿勢を変えることはありません。本CSR報告書では、リケンテクノスグループを支えてくださるステークホルダーの皆様との具体的なかかわりについて報告しております。是非、ご覧ください。

▶ ACT NOW! ACT TOGETHER! 2018

3か年中期経営計画

リケンテクノスグループは、2016年4月に3か年中期経営計画を始動させました。「ACT NOW! ACT TOGETHER! 2018 ～すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指して～」という経営方針に基づき、5つの主要課題を解決してまいります。また、自動車および医療ヘルスケア市場をはじめとした重点市場に対し、取り組みを強化しております。これら3か年中期経営計画で掲げた目標を達成するために最も大切なものは、「人」であります。社員の個々の能力を高めながら、チームワークで事に当たってもらいたく、「ACT NOW! ACT TOGETHER!」を経営方針に据えました。これは、社外に対しても同じです。あらゆるステークホルダーの皆様とさらに強固なパートナーシップを築き、スピードを持って課題解決に取り組んでまいります。

特集

本CSR報告書の特集では、すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指して、リケンテクノスグループがどんな技術を世の中に提供しているのか、事例を交えてご紹介します。普段何気なく接する様々なモノたちに、リケンテクノスグループの技術が活かされています。社員の声を通して、リケンテクノスグループの様々な技術の一端をお見せできればと思います。

私たちは、持続可能な社会の実現に向け、これからもステークホルダーの皆様と共に歩んでまいります。今後ともさらなるご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

代表取締役 社長執行役員

常盤 和明

会長メッセージ

代表取締役会長に就任してから1年半が経ちます。2016年4月に執行役員制度を導入し、6月には監査等委員会設置会社に移行、社外取締役の役割を明確にして取締役会の監督機能を向上させてまいりました。これからもさらに経営の透明性・公正性の向上を目指してまいります。経営体制が激変した中、開かれた企業としてよりよい運営を目指し、執行部門を監督する立場から経営を支えてまいります。世界各国における拠点の数も増え、今後は、リケンテクノスグループの組織力を活かした経営も強化してまいります。

3か年中期経営計画においては、「革新的な生産体制の創造」が今後重点的に取り組むべき主要課題のひとつです。しっかりとしたもの造りができることは、メーカーの原点であり、将来の経営を左右する重要な課題です。過去の技術を伝承しつつ、現地、現物、現実の三現主義に立ち返り現場力を強化し、もの造りにさらなる磨きをかけ、お客様のご要望に応じてまいります。

今後とも、リケンテクノスグループに対し倍旧のご厚情を賜りたく、切にお願い申し上げます。

代表取締役会長

清水 浩



▶ リケンテクノス ウェイ

リケンテクノス ウェイとは

100年企業を目指し、2011年の創業60周年を機に策定された経営理念です。創業時から受け継いでいる「ベンチャー精神」に代表される「リケンらしさ」に、新たな夢や発展の方向性が加わった「リケンテクノス ウェイ」は、「ミッション」、「コア・バリュー」、「基本行動」の3つから成り立っています。

ミッション(会社の使命・存在意義を表します。)

私たちは科学の力で
豊かさ、安心、快適を創り出す
チャレンジメーカーです
独創的で卓越した
樹脂素材の配合加工技術で
企業と人と社会に
新たな価値と喜びを提供し続けます

コア・バリュー(基本的価値観を表します。)

信頼しあい貢献しあう
新しい価値を生み出す
常に挑戦し成長する
仕事を楽しみワクワクする
共に解決し共に喜ぶ

CSRについて

リケンテクノスグループのCSR活動は、「リケンテクノスグループ 企業行動規範」に基づいて行われています。

リケンテクノスグループ企業行動規範

リケンテクノスグループは、公正な競争を通じて利潤を追求すると同時に、広く社会にとって有用な存在でなければならない。そのためリケンテクノスは「リケンテクノスグループ企業行動規範」に基づき、国の内外を問わず、人権を尊重し、関係法令、国際ルールおよびその精神を遵守するとともに、社会的良識をもって、持続可能な社会の創造に向けて自主的に行動する。

※全文は、リケンテクノスのホームページからご覧頂けます。

▶ 役員の紹介

取締役



代表取締役
会長
清水 浩



代表取締役
社長執行役員
常盤 和明



代表取締役
専務執行役員
営業本部長
住吉 正充



取締役
常務執行役員
管理本部長 兼 総務部長
入江 淳二



取締役
上席執行役員
経営企画本部長
梶山 学之



取締役
常勤監査等委員
大河内 義孝



取締役<社外>
監査等委員
根本 博



取締役<社外>
監査等委員
早川 貴之



取締役<社外>
監査等委員
中村 重治

執行役員 (取締役兼務者を除く)



上席執行役員
技術本部長
兼 情報電子ビジネス
ユニットマネージャー
大谷 寛文



上席執行役員
品質保証本部長
田坂 道久



上席執行役員
RIKEN AMERICAS
CORPORATION 取締役社長
兼 RIKEN ELASTOMERS
CORPORATION 取締役社長
島田 高志



執行役員
コンパウンド統括部長
植山 俊一



執行役員
業務管理室長
兼 システム開発部長
小泉 真人



執行役員
技術本部 副本部長
兼 研究開発センター長
兼 第3開発室長
杉野 等



執行役員
購買本部長
杉江 剛



執行役員
フィルム統括部長
登坂 真史



執行役員
PT. RIKEN INDONESIA
取締役社長
佐藤 敏幸



執行役員
製造本部長
興水 宏人

すべての生活空間に 快適さを提供する リーディングカンパニーを目指して

リケンテクノスグループは、めまぐるしく変化する社会の中で、先端技術を支え、産業を支え、日本を、そして世界の未来を支えるために、日々挑戦し続けています。2016年に3ヵ年中期経営計画を始動させ、ACT NOW! ACT TOGETHER! 2018という経営方針のもと、すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指してまいります。

私たちの強みである「独創的で卓越した樹脂素材の配合加工技術」は、お客様と共に進化し、3ヵ年中期経営計画の最終年度である2019年3月までには、さらにグレードアップした様々な製品をお届けいたします。今回の特集では、リケンテクノスグループの技術がどのような形で、皆様の生活の中でお役に立っているのか、その一端を分野ごとにご紹介致します。小さな改良を積み重ねながら何十年も販売されているロングセラーグレードから、最新の技術が詰まった新商品まで幅広く、社員の声と共にご紹介致します。

私たちが目指していること

すべての生活空間に
快適さを提供する
リーディングカンパニーを
目指してまいります。

**ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018**

**今動き出せ!
仲間とともに!**

～すべての生活空間に快適さを提供する
リーディングカンパニーを目指して～

鉄 道



技術本部 研究開発センター 第2開発室
第2グループ 副主任研究員
とみたか しんや
富高 慎哉



さ わり心地が良く、かつ鉄道車両の難燃規格をクリア
さ できる材料として、肘掛けに採用いただきました。

この製品は我々の材料設計力だけではなく、一緒に開発を行ってきた成形メーカー様と設計メーカー様の力がそれぞれ融合し、協働で作り上げた“合作品”です。

事例01 大阪環状線 323系車両 優先座席用肘掛け

線区史上初の専用設計車両。細部にいたるまでこだわって設計された車両です。内装も、乗り心地に配慮され様々な工夫がなされています。

営業本部 建材・建装材ビジネスユニット
建材・建装材大阪グループ グループリーダー
うすい のぶゆき
臼井 信幸



建 材・建装材ビジネスユニットでは、「快適な生活空間を提供する」をモットーに日々提案活動を行っております。今回肘掛け用で採用いただいた材料は、人が触れた瞬間に快適さを感じることができる、触感にこだわった「E触感®エラストマー」です。世の中には触感以外にも人が快適さを感じられるものは沢山あります。そのような材料をどんどん提案してまいります。



事例02 鉄道駅 盤内配線

駅には、多くの電線が走っています。電線を守るための被覆材としてリケンテクノスのコンパウンドが使われています。燃えにくく頑丈でありながら、簡単に曲げられるしなやかさを実現することが求められています。



イメージ写真



営業本部 電材ビジネスユニット 電材東京グループ
やまもと たいすけ
山本 泰輔



採 用製品は、ハロゲンフリーコンパウンドの中で非常に柔軟性に優れており、ケーブルの被覆材に使用すると可撓性(=しなやかさ)が向上され、お客様に好評です。

敷設現場での作業性がアップし、お客様の製品としても大きな強みになりました。また基本的な性能はもちろんのこと、架橋工程*が不要で、従来品と比較して押出加工性が良いため、客先の製造設備を選ばずに、どのラインでも成形できるという点も喜ばれました。

*架橋工程：鎖状高分子の分子間に橋を架けたような結合をつくる工程。

自動車

事例03 ワイヤーハーネス

自動車に張り巡らされているワイヤーハーネスは、1台あたり数kmにもおよびます。そのワイヤーハーネス被覆材向けのリケンテクノスグループのコンパウンドは、世界シェアの30%を占めています。



営業本部 電材ビジネスユニット
電材東京グループ 課長代理
さいとう しんいち
齋藤 真一



白 自動車用ワイヤーハーネスは、自動車が走ったり、止まったり、窓を開けたり、室内温度をコントロールしたり、目的地を捜したり、音楽を聞いたり、といった安全・快適さを制御する電線を束にした集合部品のことをいいます。人の体で例えるならば、血管といったところでしょうか。リケンテクノスは、グローバルQCDTE*体制を駆使し、色々な国に製品を供給しております。

*グローバルQCDTE:品質・価格・納品・技術・環境



事例04 シール材

自動車のドアがきちんと閉まるのも、雨が車内に侵入しないのも、密閉・密封用のシール材のおかげです。この部品に多くのコンパウンドが使われています。

軽い!

省エネ!

コスト削減!

高耐熱性!

高耐油性!

実はゴムよりも



営業本部 車両ビジネスユニット 車両東京グループ グループリーダー
すずき けんじろう
鈴木 佑二郎

リ ケンテクノスのコンパウンドが使用されているシール材。ガラスランチャネルやベルトモール、グロメット・ブーツ材料、モーターシール、船外機のシール部品として使用されています。自動車用シール材は、開閉時の水や埃の侵入を防いだり、騒音を軽減させたりと、室内を快適に保つ重要な役割を担う部品です。更なる機能性の向上を目指し最適な材料を提案し続けてまいります。

RIVIC®(リビック®)の
内装部品加飾例



事例05 加飾部品

自動車の中を居心地の良い空間にするため、部品を彩るフィルムが使われています。

デザイナーと共に、新しい意匠を生み出していきます。



RIVIC®(リビック®)の外装部品加飾例



技術本部 研究開発センター
第1開発室 第2グループ 副主任研究員
すずき やすひろ
鈴木 康広

RIVIC®(リビック®)は、リケンテクノスがこれまでのフィルム製品で培った設計・意匠・加工技術をフル活用した加飾フィルムです。従来製品のような印刷グラフィック表現に加えてエンボス加工によるテクスチャー表現が可能です。樹脂部品に色柄や手触り感、視覚効果も与えます。

独自の意匠性と高い耐久性で自動車内装用途を中心に採用拡大中です。さらに次世代自動車開発に貢献するため外装用途に適合させる開発も進めております。

オープニングシール



グラスランチャンネル

グロメット

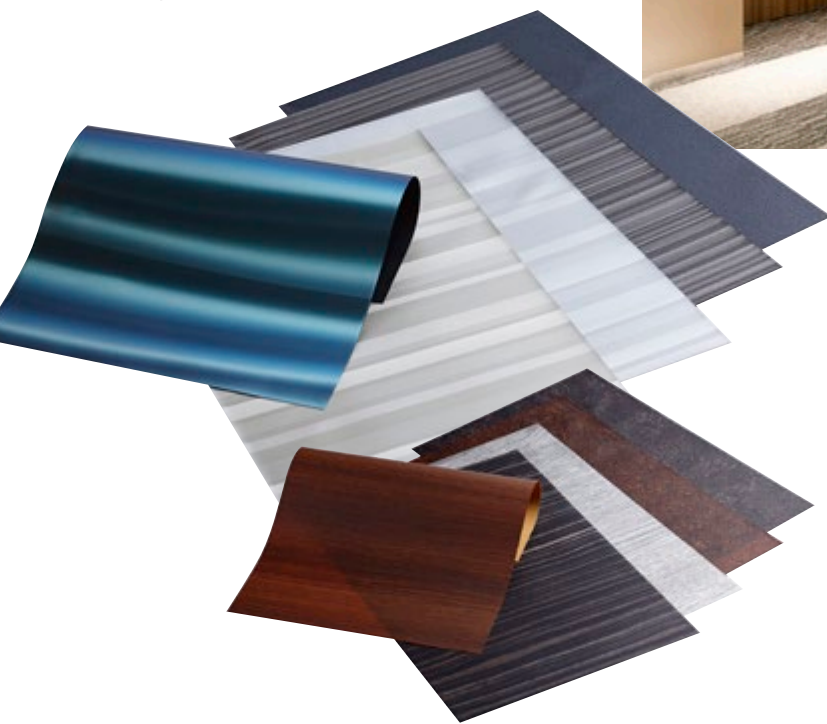


建装、土木

事例06 高級壁装材

美しい空間づくりに欠かせない壁紙。特に高級壁装用に使われるリケンテクノスのフィルムの加工技術は、もはやアートです。

本物にしか見えないように木目フィルムを仕上げたり、フィルムの表面に心地よい触感を与えたり、金属以上に金属らしい光沢を付与したり。デザインだけではなく、現場での施工性も良く、美しく仕上がります。



営業本部 建材・建装材ビジネスユニット かとう よしたけ
建材・建装材東京グループ 課長代理 **加藤 嘉丈**

リケンテクノスの配合加工技術であるフィルムの製膜、エンボスラミネート、粘着加工技術を活かし、高級壁装用フィルムを提供しております。中でも、表面に耐汚染性を考慮したフィルムや、表面のキズ防止の処理を施したフィルムは、高い技術力により実現した機能です。

質感にもこだわった表面意匠はお客様にも好評で、ホテルや店舗等の商業施設をはじめとし多くの内装空間に使用されています。



事例07 産業用ホース

ホースには、産業用から庭での水撒き用までたくさんの種類があります。水、薬品、食品、溶剤、油、など色々なものをホースは通していきます。リケンテクノスのコンパウンドは、耐久性、柔軟性、など多くのニーズを満たすことで、長きにわたって使われています。

技術本部 研究開発センター
第5開発室 第2グループ
おおさわ ひでお
大澤 英夫

「工業用ホース」と一概にいても、搬送する物質や使用される環境などによって材料に求められる性能はそれぞれ異なります。お客様と打ち合わせを行いながら、要望を的確に捉え用途に合った最適な配合処方の開発を行っています。また、成形加工性に関してもお客様と打ち合わせを行いながら成形現場でも喜ばれるような処方設計を心がけています。



営業本部 建材・建装材ビジネスユニット
建材・建装材大阪グループ
たかおかずや
高尾 一也

私の所属するビジネスユニットでは、工業用ホースの材料となるコンパウンドも販売しております。工事現場や災害救助現場など様々な場面で使用されており、2020年の東京オリンピック開催でもたくさんの需要が見込まれています。

普段の生活の中では直接目に触れる機会は少ないかもしれませんが、皆様が安全・安心に生活できる環境を提供する一翼を担っています。

音楽

事例08 レコード

インターネット経由で音楽を聴くのが当たり前となっている現代でも、アナログのレコードには根強いファンがいます。レコード向けのコンパウンドは、ロングセラー商品です。



営業本部 生活資材医療ヘルスケアビジネスユニット
生活資材医療ヘルスケア 第1グループ

かとう みきこ
加藤 実希子



近年、世界的にレコード回帰の動きがあり、日本でも音へのこだわりが強い世代を中心に人気が再燃しています。これに伴い近年の傾向にも変化が見られます。まず色について、これまでの黒一辺倒から、透明や有彩色などの要望がアーティストから増えているようです。材料については30年以上ほとんど変わらず今にいたっていましたが、こだわりの強い世代からより良い音への要求が高まっており、レコードメーカーも改善に乗り出しています。リケンテクノスグループは、材料面から音質の向上に貢献していきます。

事例09 ゴルフバッグ

触り心地にとことんこだわった新しいフィルムACT Leather®(アクトレザー)*。試しにゴルフバッグを制作してみました。バッグのみならず様々な用途に向けて、さらなる開発を続けています。

営業本部 生活資材医療ヘルスケアビジネスユニット
生活資材医療ヘルスケア 第2グループ

しおた さとし
塩田 智志

樹脂の配合設計及びフィルム状にする加工技術を応用し、新たな提案・感動を届ける製品を開発しています。【生地】ACT Leather®(アクトレザー)という製品もその開発品のひとつです。生地化という開発は、初挑戦であるがゆえに、手探りで試行錯誤を続けてきました。ようやく形になり、初めて触れたお客様に驚きと感動を届けることができるようになってきました。



技術本部 研究開発センター 第1開発室
第1グループ(埼玉駐在) 副主任研究員

おぐま としお
小熊 利夫

耐摩耗性、耐汚染性などの特長を活かした鞆用レザーシートの開発に取り組んでいます。開発の過程で苦労することは、鞆用レザーシートとしての物性だけでなく、縫製性能まで含めた評価が難しいことです。リケンテクノスにとっては、新しい分野なので、果敢にチャレンジして開発を進めます。

*【生地】ACT Leather®(アクトレザー)：E触感®エラストマーシートを表皮とした生地との複合素材です。

ファッション



ディスプレイ

事例10 スマートフォン

ガラスの表面を保護するフィルム、ひいてはガラスそのものの替わりとなるフィルムを開発してきました。軽くて、割れない、その上色々な機能も持っています。用途に合わせ、たくさんのグレードが完成しています。



営業本部 情報電子ビジネスユニット 情報電子グループ 担当課長 **友松 弘行** ともまつ ひろゆき

リケンテクノスは、様々な部材用に光学用製品を提供してきました。今回新たに世界初のアクリルイミド系フィルムとしてREPTY®(リプティ®)DC100を開発しました。

このREPTY®(リプティ®)DC100は、とても硬く(高硬度)かつ、光学特性に優れた素材で、ガラスに替わる安全軽量素材として期待されています。すでにモバイル用に多くご採用いただき、これからは、車載や医療機器、産業用としても大きな注目を浴びております。是非、この「グラスチックフィルム*」を手にとってご覧いただければと思います。

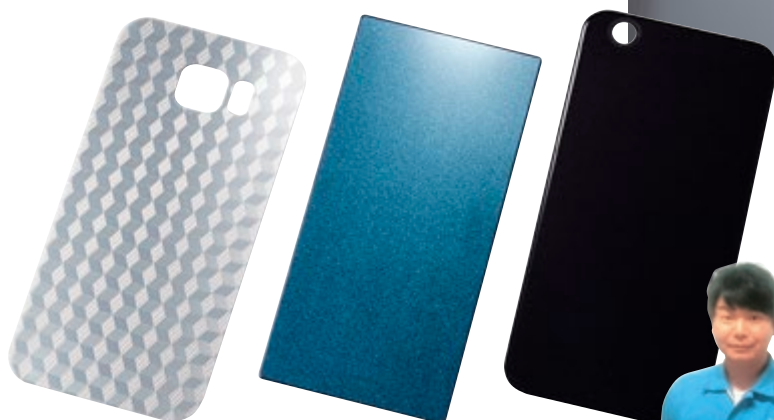


*グラスチック:ガラス(ガラス/glass)とプラスチック(plastic)を掛け合わせたもの。ガラスのような透明感や強度を持つプラスチックのこと。

事例11 3次元曲面成型

ガラスの替わりとなるフィルムに、美しいデザインを持たせることもできます。

3次元曲面に合わせて加工できるので、車載ディスプレイなど用途が広がります。



技術本部 第7開発室 第1グループ **鷺尾 望** わしお のぞむ

「ガラスよりガラスっぽい」素材として、REPTY®(リプティ®)DC100が完成し、その見た目の美しさと優れた特性から、これまでモバイル用途を中心に、多くのお客様にご使用いただき、快適さを感じていただいています。

今後の開発では、モバイル用途だけではなく、車両用途を含む幅広い展開を目指します。REPTY®(リプティ®)DC100の進化版にご期待ください。



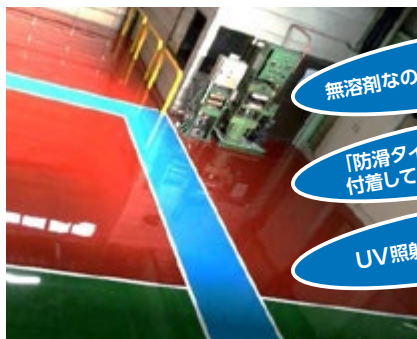
曲げ加工ができます



リキッドコンパウンド

事例12 エポキシ床用UVコーティング

フローア用のコーティング材で、工場や店舗の床などに最適です。
ヒールマークと呼ばれる靴の汚れがつきにくく、清掃性もアップし美観を維持できます。



営業本部 ソリューションビジネスユニット
営業グループ
なかがわ ともゆき
中川 智之



工場や倉庫の床には一般的に樹脂床材が塗られていますが、フォークリフトの走行による傷や靴底による汚れの付着が数多く見られます。リケンテクノスのUVコーティングは、傷や汚れがつきにくく、汚れが付着しても簡単に取り除くことができます。

リケンテクノスのUVコーティングが、お客様の作業環境、生活環境向上に少しでもお役に立てるよう取り組んでまいります。

事例13 外装用遮熱コーティング

建物内を涼しく保ち、冷房の消費電力が減り省エネにつながります。

営業本部 ソリューションビジネスユニット 開発グループ おかやま こうた
岡山 孝太

リケンテクノスの遮熱コーティングは、柔軟な塗膜と高い日射反射率を両立しているコーティングです。また、汚れに強く、劣化しにくいトップコート材との併用で高い遮熱性能を長期間持続可能です。本来、東南アジアなど暑い地域で採用が見込まれる製品でしたが、近年の異常ともいえる夏の暑さで、国内外問わずお客様の工場や倉庫に採用いただいております。



高防汚、高耐候、遮熱、の3つの効果で、美観を長期維持!
高日射反射率80%!
(※リケンテクノス測定値)
遮熱と断熱のダブルの効果!



事例14 TSUTSUMU

耐熱温度が220℃のクッキングシートです。
透明なフィルムのため、包んだまま料理を魅せることができ、演出の幅が広がります。



リケンファブロ株式会社 もり よしみ
営業部 大阪支店長 森 良美

TSUTSUMUは、料理を包んだまま提供できます。食べる直前まで、料理が包まれているので、香りや旨みが逃げずかつ温かいままです。また、事前に仕込みをしたTSUTSUMU料理を、スチームコンベクションオーブンで調理すれば、大量調理が可能になり大人数向けでも温かく香り高い料理を提供できます。

TSUTSUMUは、リケンファブロの電子レンジに強いフォーラップがヒントとなり誕生しました。耐熱温度180℃のフォーラップで調理ができないかと思い、肉や魚をベースに香り高い野菜を包んでオーブンで調理してみたのが始まりです。料理に華やかさを持たせると、耐熱温度を上げることを目指し、現在の素材となりました。

新しい価値を生み出すために、TSUTSUMUを多くの分野に使っていただけるように提案し続けてまいります。

食品包材



グリーンアスパラガスのオープン焼き
東京の青山にあるレストラン「フロリレージュ」の新進気鋭の
オーナー「川手シェフ」によるオリジナル料理です

料理に驚きと華やかな世界を

「TSUTSUMU」



リケンテクノスグループ概要

▶ 会社概要 (2017年3月31日現在)

社 名 リケンテクノス株式会社
設立年月日 1951年(昭和26年)3月30日
資 本 金 85億14百万円
代 表 者 代表取締役 社長執行役員 常盤 和明
従 業 員 数 連結 1,825名 単体 662名
本社所在地 東京都千代田区神田淡路町二丁目101番地
 ワテラスタワー

▶ 事業内容

リケンテクノスは創業以来培われてきた合成樹脂加工に係わる総合的な技術をベースに「コンパウンド事業」「フィルム事業」「食品包材事業」の3事業を柱に国内外で事業を展開しています。経営理念「リケンテクノス ウェイ」のもと、「科学の力のチャレンジメーカー」として、多様化・高度化するお客様や社会のニーズに適合した高品質な製品・技術を提供しています。

コンパウンド事業

コンパウンドとは、ベースの樹脂に添加剤を何種類か混ぜ合わせ、新しい性質を持たせた複合材料で、主に押出成形や射出成形に使われる素材です。

● 主要製品

塩化ビニルコンパウンド、熱可塑性エラストマー、導電性コンパウンド、制電性コンパウンド、バイオマスコンパウンドなど



フィルム事業

配合した樹脂の特性に適した製法で高品質のフィルム製膜を行っています。また、複数のフィルムを貼り合わせたり、表面に機能性塗料をコートすることによって意匠性や機能性を付与したフィルム製品を製造しています。

● 主要製品

建築内装化粧シート、鋼板用フィルム、ポリエステル樹脂系フィルム、IRカットフィルム、ウィンドウ用装飾フィルム、光学用フィルムなど



食品包材事業

日本で初めて塩化ビニル樹脂のラップを開発したパイオニア2社が事業統合し、家庭用から業務用まで、幅広い包装用途に最適の品質・性能を追求した製品を開発し市場に提供しています。

● 主要製品

塩化ビニルラップ、オレフィン系ラップなど



▶ 業績

2016年度(2017年3月期)のわが国経済は緩やかな回復傾向となり、海外においては不確実性があるものの概ね景気持ち直しの動きが見られました。このような環境下、リケンテクノスグループはグローバルな視点で顧客ニーズを確実に捉え、受注につなげることで業績の向上に努めました。その結果、連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高となりました。

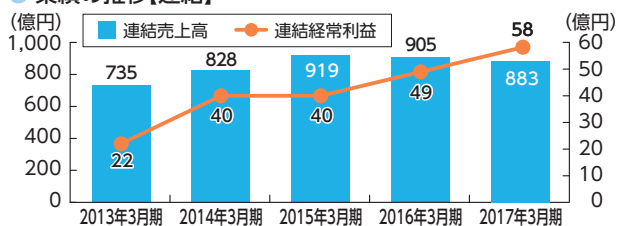
● 2017年3月期 業績

(単位:億円)

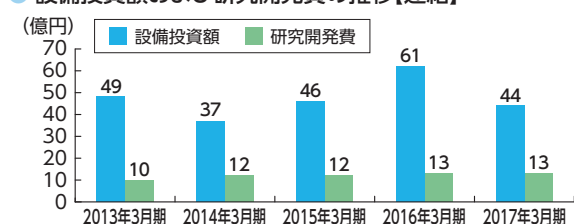
	連結	単体
売上高	883	379
営業利益	58	10
経常利益	58	24
当期純利益	27*	20

※親会社株主に帰属する当期純利益

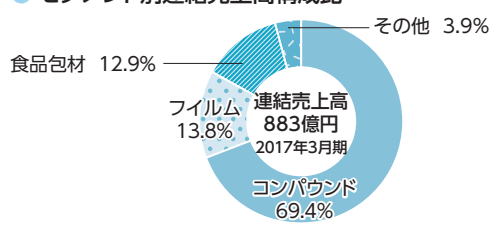
● 業績の推移【連結】



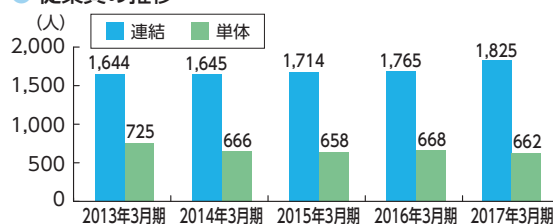
● 設備投資額および研究開発費の推移【連結】



● セグメント別連結売上高構成比



● 従業員の推移



▶ 中期経営計画

リケンテクノスグループは、2016年4月より3か年中期経営計画「ACT NOW! ACT TOGETHER! 2018」を始動させ、すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指してまいります。世界経済が不透明で予測困難となっている中、各課題を確実に解決していくことで、目標を達成してまいります。

● 経営方針

ACT NOW! ACT TOGETHER! 2018

～すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指して～



個々の力を集結し、パワーを凝縮させながらさらなる高み、ひとつ先の未来へ、素早くかつ優れたパフォーマンスをもって進んでいく様を表現しています。

● 計数目標

	2019年3月期(最終年度)目標
連結売上高	1,100億円
連結営業利益	80億円
連結経常利益	80億円
連結当期純利益	45億円

● 経営目標

	ROS 売上高 営業利益率	ROA 総資産 経常利益率	ROE 株主資本 純利益率
2019年3月期 (最終年度)目標	7%	10%	8%

● 主要課題

① 全事業のグローバル経営の深化

重点市場である自動車または医療ヘルスケア市場に対応するため、新設および増設したベトナム国・中国・米国でのコンパウンド製造工場が稼働開始しました。さらに、タイ国及びインドネシア国のコンパウンド工場の増設を決定しました。米国においては持株会社を設立し、販売体制を整えました。今後はより効率的なグローバル展開を進めてまいります。

② 収益力・財務体質の強化

海外での投資設備を活用し早期に稼働率を上げることと、各本部および内外各拠点の連携を高めることにより収益力の強化につなげ、ROS・ROA・ROEの改善を進めてまいります。

③ 革新的な生産体制の創造

品質面、コスト面および安定供給面を格段に向上させることで競合他社との更なる差別化を図り、より高い競争力をもってグローバルで戦える体制を構築してまいります。

④ 光学分野における事業化の確立

独自の製膜加工技術と配合技術の融合によるオリジナルティを活かした未来製品の創出を行っており、大手家電メーカーを含むいくつかのモバイル関連アイテムでの販売を開始しました。今後は、量産性改善、他分野への展開等により、売上および収益改善に努めてまいります。

⑤ 戦略的な人材育成による企業基盤の強化

「人事制度の見直し」、「働き方改革の取り組み」および「積極的なポストチャレンジ」等により、活力のある組織風土の醸成を目指してまいります。

国内・海外ネットワーク

リケンテクノスグループは、リケンテクノスおよび連結子会社19社で構成されています。創業以来、積極的に国内外市場を開拓し、リケンテクノスブランドの浸透に努めてきました。「マテリアル・ソリューション・サプライヤー」として、国内外拠点の連携により、総合的にお客様の課題を解決しています。

国内

●事業所 ●製造会社 ●販売会社
 ＊ISO9001 認証取得 ＊ISO14001 認証取得

2017年9月1日現在



11 リケンケミカルプロダクツ株式会社＊



木粉入りコンパウンド



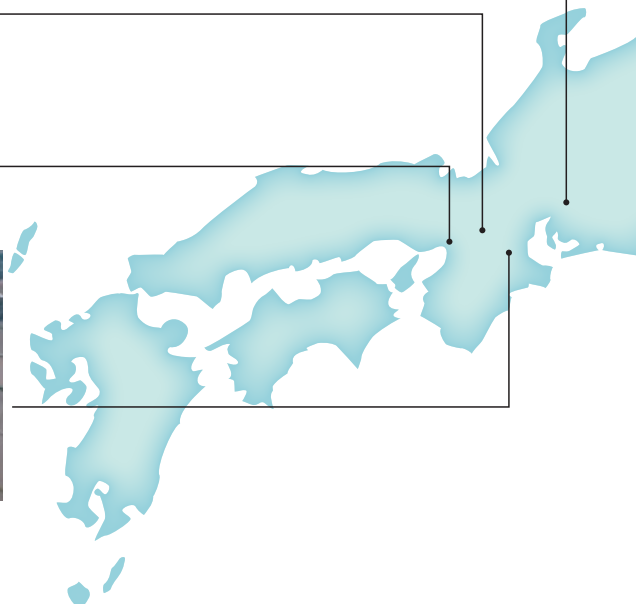
3 名古屋営業所＊＊



2 大阪支店＊＊



5 三重工場＊＊
 研究開発センター(三重)＊＊



リケンテクノス株式会社事業所	主な業務内容	所在地
1 本社	本社機構、営業	東京都千代田区
2 大阪支店	営業	大阪府大阪市
3 名古屋営業所	営業	愛知県名古屋市
4 埼玉工場	コンパウンド・フィルムの製造	埼玉県深谷市
5 三重工場	コンパウンド・フィルムの製造	三重県亀山市
6 群馬工場	グリーン環境下での高機能フィルムの製造	群馬県太田市
7 研究開発センター	研究開発および国内外拠点の技術的サポート	東京都大田区 埼玉県深谷市 三重県亀山市 群馬県太田市

※連結子会社のうち製造会社については、代表製品の写真を掲載しております。



6 群馬工場**
研究開発センター(群馬)**



4 埼玉工場**
研究開発センター(埼玉)**



8 進興電線株式会社**



各種電線



7 研究開発センター(東京)**



1 本社**

9 株式会社協栄樹脂製作所*



成形加工品
(POSレール、リケンテープ®)

10 リケンテクノスインターナショナル株式会社

12 リケンファブプロ株式会社**



塩ビラップ

国内連結子会社	主な業務内容	所在地	資本金	出資比率
8 進興電線株式会社	電線の製造・販売	埼玉県入間市	48,000千円	100%
9 株式会社協栄樹脂製作所	合成樹脂製品の成型加工および製品の販売	東京都千代田区	24,000千円	100%
10 リケンテクノスインターナショナル株式会社	合成樹脂加工品の仕入・販売	東京都千代田区	10,000千円	100%
11 リケンケミカルプロダクツ株式会社	塩化ビニルおよび高機能プラスチック成形材料の製造・販売	滋賀県湖南市	300,000千円	100%
12 リケンファブプロ株式会社	食品包装用フィルムおよび合成樹脂、アルミニウム、紙等を原料とする日用品雑貨の製造・加工・販売	東京都千代田区	200,000千円	100%

国内連結子会社は本社所在地のみを表示しています。

国内・海外ネットワーク

海外には14社の連結子会社があり、世界中に高い品質のリケンテクノス製品をお届けしています。

海外

●製造会社 ●販売会社
*ISO9001 認証取得 *ISO14001 認証取得

2017年9月1日現在



26 RIKEN TECHNOS EUROPE B.V.



14 RIKEN ELASTOMERS (THAILAND) CO., LTD. **



13 RIKEN (THAILAND) CO., LTD. **



20 RIKEN VIETNAM CO., LTD. **

医療向け
塩ビコンパウンド



自動車部材向け
コンパウンド



一般塩ビ
コンパウンド



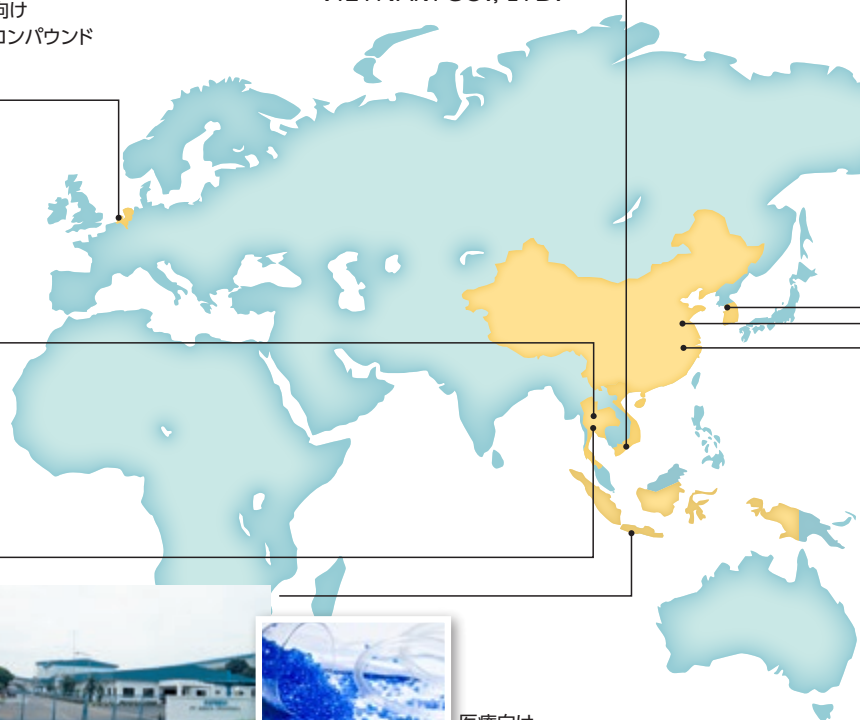
15 PT. RIKEN INDONESIA **



医療向け
塩ビコンパウンド



23 RIKEN TECHNOS INTERNATIONAL VIETNAM CO., LTD.



海外連結子会社	主な事業内容	所在地	資本金	出資比率
13 RIKEN (THAILAND) CO., LTD.	塩化ビニル成形材料の製造・販売	タイ国パトムタニ県	120,000千 タイバーツ	40%
14 RIKEN ELASTOMERS (THAILAND) CO., LTD.	高機能プラスチック成形材料の製造・販売	タイ国アユタヤ県	300,000千 タイバーツ	100%
15 PT. RIKEN INDONESIA	塩化ビニル成形材料の製造・販売	インドネシア国 ウエストジャワ州	11,000千 米ドル	56.22%
16 上海理研塑料有限公司	塩化ビニル成形材料の製造・販売	中国上海市	7,500千 米ドル	70%
17 理研食品包装(江蘇)有限公司	食品包装用フィルムの製造・販売	中国江蘇省	13,500千 米ドル	92.59%
18 RIMTEC CORPORATION	塩化ビニル成形材料の製造	米国 ニュージャージー州	13,415千 米ドル	(62.94%)
19 RIKEN ELASTOMERS CORPORATION	高機能プラスチック成形材料および塩化ビニル成形材料の製造	米国ケンタッキー州	28,741千 米ドル	(62.94%)
20 RIKEN VIETNAM CO., LTD.	塩化ビニル成形材料の製造・販売	ベトナム国 ビンズオン省	10,000千 米ドル	100%

※製造会社については、代表製品の写真を掲載しております。



海外連結子会社	主な事業内容	所在地	資本金	出資比率
21 理元(上海)貿易有限公司	機能性フィルム製品の仕入・販売	中国上海市	5,000千 人民元	100%
22 RIKEN TECHNOS INTERNATIONAL KOREA CORPORATION	プラスチック製品の卸売・輸出入	韓国ソウル市	1,800,000千 韓国ウォン	100%
23 RIKEN TECHNOS INTERNATIONAL VIETNAM CO., LTD.	プラスチック製品の卸売・輸出入	ベトナム国 ホーチミン市	400千米ドル	100%
24 RIKEN AMERICAS CORPORATION	高機能プラスチック成形材料 および塩化ビニル成形材料の販売	米国ケンタッキー州	30,000千 米ドル	62.94%
25 RIKEN U.S.A. CORPORATION	機能性フィルム製品の仕入・販売	米国ミシガン州	1,000千 米ドル	100%
26 RIKEN TECHNOS EUROPE B.V.	機能性フィルム製品の仕入・販売	オランダ王国 アムステルダム ザウダースト	400千ユーロ	100%

※出資比率の欄の()内の数字は、間接保有割合(内数)であり、リケンテクノスの子会社が保有しています。

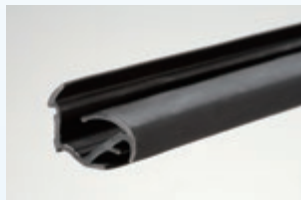
※RIKEN TECHNOS INTERNATIONAL (THAILAND) CO., LTD.および、RIKEN TECHNOS INTERNATIONAL PTE., LTD.は、清算手続中であるため、上記の子会社から除いております。

製品のご紹介

リケンテクノスグループの製品は、用途に応じて加工され、暮らしの中で活躍しています。

自動車(外装)製品

- 各種モール用コンパウンド および金属調フィルム
- グラスランチャンネル用コンパウンド
- ワイヤハーネス用コンパウンド
- ブーツ用コンパウンド



自動車(内装)製品

- シフトノブ用コンパウンド
- ドアトリム用 E触感[®]シート
- 加飾フィルム RIVIC[®] (リビック[®])
- ウィンドウ用フィルム RIVEX[®] (リベックス[®])



建材・建装材製品

- 高級壁装フィルム
- 断熱窓枠用コンパウンド
- 建装材部材用コンパウンド



手すり



医療・ヘルスケア製品

- シリンジガasket用コンパウンド
- 血液回路用コンパウンド
- 枕のクッション材用コンパウンド
- 歯ブラシ用コンパウンド



電装材製品

● 電力電線用コンパウンド



● 機器電線用コンパウンド



● フレキシブルフラットケーブル用フィルム



電子材料製品

● REPTY® (リプティ®) DC100



ディスプレイ強化



ディスプレイ保護



3D成形も可能

生活資材製品

● ペングリップ用コンパウンド



● 接木用フィルム



● レコード用コンパウンド



● キャップシール用コンパウンド



● かばん用E触感®シート



● 冷蔵庫ガスケット用コンパウンド



食品包材製品

● 小巻ラップ



● 業務用ラップ



● リケンビッグラップ®



● フォーラップ®



● ブルーラップ「オーシャン」



● TSUTSUMU





コーポレート・ガバナンス

常勤監査等委員メッセージ

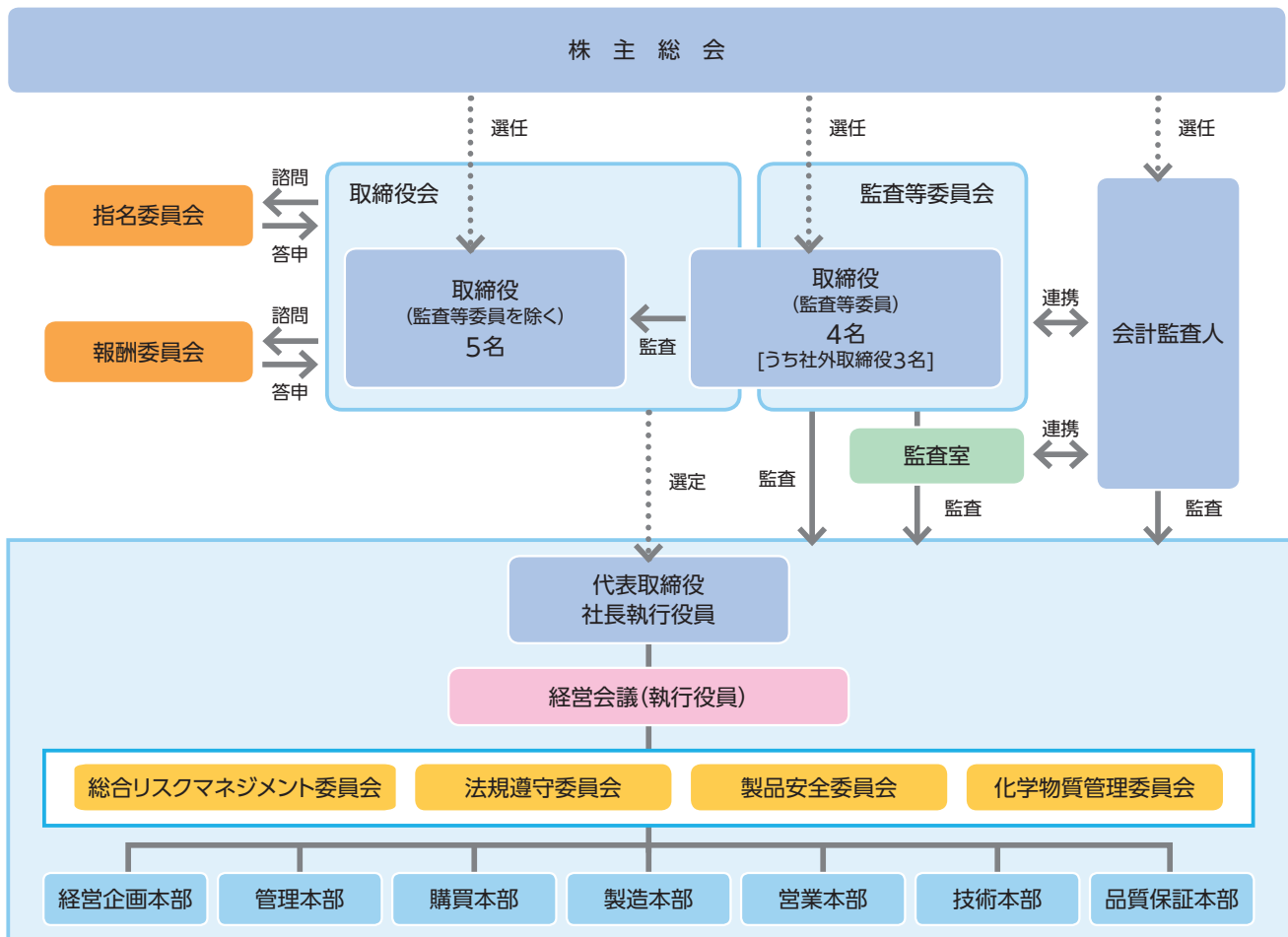


リケンテクノス株式会社
取締役 常勤監査等委員
おおこうち よしたか
大河内 義孝

リケンテクノスは2016年6月に監査等委員会設置会社に移行し、2期目を迎えました。監査等委員会は、3ヵ年中期経営計画の課題解決を進める執行部門に対し、監査・監督機能の向上を継続的に図っています。リケンテクノス監査等委員会には、独立性の確保された3名の社外取締役が選任されており、国内外拠点の現地訪問、ヒアリングによるモニタリングを強化し、客観的な立場から業務執行の妥当性を判断し、助言・意見をいただきます。また直轄組織である監査室とは、より連携を深め、組織的で実効的な内部監査を実施していきます。リケンテクノスグループが更なる成長をし、より一層の社会的責任を果たすことができるよう、ガバナンス体制の強化に努めてまいります。

コーポレート・ガバナンス体制

リケンテクノスは、取締役会の監督機能の強化、経営の透明性・公正性の向上を図るため、監査等委員会設置会社形態を採用しています。また、執行役員制度を採用し、業務執行権限の大幅な委譲を推進することで、機動的・戦略的な経営体制を構築しています。



※詳細は、「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」で開示しています。

最新版は、リケンテクノスのホームページ、または東京証券取引所のホームページにある「コーポレート・ガバナンス情報サービス」よりご覧いただけます。

▶ リケンテクノスグループ 企業行動規範

社会的信頼を確保し、企業の社会的責任を果たす基本方針として「リケンテクノスグループ 企業行動規範」を定め、すべての役員および従業員がこれに従って活動を行っています。また、企業行動規範をカードにまとめて社員一人ひとりが常に携帯し、実践に努めています。

筆頭独立社外取締役の立場から



リケンテクノス株式会社
筆頭独立社外取締役
監査等委員
なもと ひろし
根本 博

リケンテクノスは取締役の3分の1にあたる3名が独立社外取締役です。監査等委員である独立社外取締役は、株主様、お取引先様、消費者様等の皆様の目線を大切に、経営に対し独立した立場から監視、監査、監督と助言を的確に行うことにより、経営の意思決定における透明性、健全性および公正性の一層の向上を図ってまいります。

▶ 内部統制システムの基本方針に沿った体制整備

「リケンテクノスグループ 企業行動規範」を確実に実現するために、「内部統制システムの基本方針」を制定しています。詳細は、リケンテクノスのホームページよりご覧いただけます。

取締役・使用人の職務の執行が法令・定款に適合することを確保するための体制

- 代表取締役をはじめとした全取締役は、「リケンテクノスグループ 企業行動規範」および法令・定款遵守がすべての企業活動において基本であることを全役職員に徹底させる。
- 管理本部長を法規遵守委員会の委員長に任命し、その活動内容は取締役会に適宜報告される。また、法務・コンプライアンス室は全役職員に対しコンプライアンス教育を実施する。
- グループ各社は、市民社会の安全や秩序に脅威を与える反社会的勢力および団体とは一切関係を持たない。また、反社会的勢力および団体からの不当な要求に対しては、毅然とした姿勢で臨み決して屈しない。

グループ各社における業務の適正を確保するための体制

- 経営企画部は、「連結子会社管理規程」等に基づき、リケンテクノスに対する報告およびリケンテクノスにおける承認が適切に実施されるようにリケンテクノス子会社を管理・監督する。また、これらの管理・監督を通じて損失の危険を管理する。
- 法務・コンプライアンス室は、「リケンテクノスグループ コンプライアンスマニュアル」をグループ各社の役職員に周知徹底させ、グループ各社のコンプライアンス体制の整備および問題の解決に努める。
- 監査室は、定期的にグループ各社の業務監査を実施し、すべての業務活動が法令等に適合することを確認するとともに、経営諸基準に基づいて効率的に運営され、また、経営諸基準が経営目標達成のために適切に機能しているかを点検・評価する。

監査等委員を補助すべき使用人に関する事項ならびにその独立性に関する事項

- 監査等委員の職務を補佐する直轄の組織として監査室を設置し、専任の使用人を複数名配置する。
- 当該使用人の独立性を確保するため、その指揮命令権を専ら監査等委員会に委譲し、取締役（監査等委員である取締役を除く。）のほか、業務執行部門の指揮命令を受けないこととする。また、当該使用人の人事異動・人事評価・懲戒処分等の決定については、事前に監査等委員会の同意を得るものとする。

▶ 財務報告に係わる内部統制

「金融商品取引法」に基づき、財務報告に係わる内部統制の整備・運用および評価の基本方針書を作成し、2009年3月期決算から適用しています。

2017年3月期決算におけるリケンテクノスグループの財務報告に係わる内部統制は有効であると評価する内部統制報告書を金融庁に提出しました。

▶ 独立役員

リケンテクノスは、東京証券取引所上場規程第436条の2の定めに従い、独立役員3名（社外取締役3名）を選任しています。また、独立社外取締役の中から互選により「筆頭独立社外取締役」を選定し、他の取締役等との連絡・調整に係る体制整備を図っています。

▶ 内部通報ホットライン

法令・規則違反に関する疑問などを連絡・相談する窓口として内部通報ホットラインを設置しています。

監査室の他に、顧問法律事務所による第三者窓口も設置し、また相談者が社内内で特定されないようにするなど、いかなる不利益も受けないよう徹底しています。

▶ 情報セキュリティ

リケンテクノスでは、アクセス制限・データの暗号化などにより、情報漏洩リスクの最小化に努め、最新のプロテクトシステムを導入しています。また、個人情報保護法およびマイナンバー法^{*1}に基づき、社内規程を制定・運用しています。

^{*1} マイナンバー法：行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律

お客様とのかかわり

営業本部長メッセージ



リケンテクノス株式会社
代表取締役 専務執行役員
営業本部長
すみよし まさみつ
住吉 正充

営業本部は、お客様との取り組みを通じて、すべての生活空間に快適さを提供することを目指しています。

「建材・建装材」「電材」「車両」「生活資材医療ヘルスケア」「情報電子」「ソリューション」の各ビジネスユニットが、技術本部・製造本部・品質保証本部・購買本部と一体となり、お客様の視点に立ち様々な価値を提供するべく努力を続けてまいります。そして、日本国内のみならず、海外でも人々が豊かな暮らしができるように、素材を通じて貢献してゆきたいと考えています。

役員メッセージ



リケンテクノス株式会社
上席執行役員
技術本部長
兼 情報電子ビジネス
ユニットマネージャー
おおたに ひろゆき
大谷 寛文

技術本部は、すべての分野における次世代を創出していきます。お客様が感動する独創的な製品を、配合加工技術、製膜技術、複合化技術、コーティング技術などをフルに活用し、社外や大学などと協業体制も推進充実し光のスピードで創出していきます。特に、オンリーワン世界最強グラスチックフィルムREPTY®(リプティ®) DC100は、更に光を科学し多分野向けに多くのグレードが開発されています。「美しく」「安全で」「軽く」の特徴を生かし、各種ディスプレイなどを飾ることで、未来生活空間(車、情報機器、医療、サインージなど)を快適にしております。更には、すべての商材に抗菌・抗ウィルス・防虫機能を付与し、感染防止対策による社会貢献を目指します。



リケンテクノス株式会社
執行役員
コンパウンド統括部長
うえやま しゅんいち
植山 俊一

コンパウンド統括部は、「建材・建装材」「電材」「車両」「生活資材医療ヘルスケア」の4つのビジネスユニットと協働で、お客様との接点を増やし、お客様からの様々なご要望に対して、技術本部・製造本部・品質保証本部・購買本部と一体となり、迅速かつ的確に対応できるよう取り組んでまいります。また市場の変化を見逃さず、お客様に多種の新しい製品を提案し、お客様及び社会の発展に貢献したいと考えております。また、お客様の海外拠点へのフォローも適切に行い、リケンテクノスグループのグローバルネットワークを活かし、お客様に貢献できるよう取り組んでまいります。



リケンテクノス株式会社
執行役員
業務管理室長
兼 システム開発部長
こいずみ まさと
小泉 真人

業務管理室は、お客様が希望される納期にお応えできるよう努めてまいります。

営業本部の一員である当室はお客様の声を直接お聞きできるセッションでもあり、きめ細かいサービスを通じて、両者のよりよい関係構築にも貢献します。今後も、受注、生産、出荷、納品にいたるあらゆる場面での社内外の調整役としてご期待に応えていきたいと思っております。基幹システムの完全導入から1年少々が経過し、運用も落ち着き始めております。これからはシステムの有するデータの有効な活用によってお客様の様々なご要望にお応えしてまいります。



リケンテクノス株式会社
執行役員
技術本部 副本部長
兼 研究開発センター長
兼 第3開発室長
杉野 等

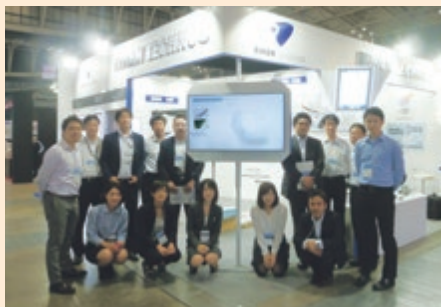
リケンテクノスの研究開発センターは、常に新しい視点とアイデアで品質の向上とサービス体制の強化に努めております。世界中のお客様に確かな満足をお届けできるのも、長年にわたり培ってきた技術開発力、豊富な知識と経験の積み重ねがあるからです。お客様に心を尽くし、社会や環境に配慮しながら明日のニーズに応えることこそ、グローバル企業である私たちの使命と考え、日々、開発に邁進してまいります。



リケンテクノス株式会社
執行役員
フィルム統括部長
登坂 真史

フィルム統括部は、国内の「建材・建築材」「電材」「車両」「生活資材医療ヘルスケア」「情報電子」の各ビジネスユニット及び欧州、米国、中国、韓国の各海外販売拠点からのマーケット情報を共有し、グローバルな市場ニーズ、トレンドを察知して、お客様に対し、スピードある対応ができるように取り組んでおります。技術、製造、品質保証、購買の各本部と連携し、高機能、高意匠のフィルムを開発しております。すべての生活空間に快適さを提供できるようこれからも努めてまいります。

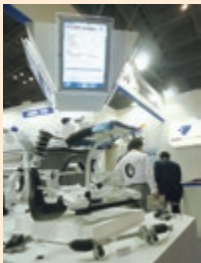
「人とくるまのテクノロジー展2017 横浜」に出展



開催日：2017年5月24日～26日
場 所：パシフィコ横浜

展示品紹介

リケンテクノスは、『技術が凝縮されたマニアックコンパウンドと五感で感じるサーフェスデザイン』をコンセプトに、機能部品向けコンパウンドと、内外装向け加飾フィルムを中心に紹介しました。



ACTYMER®G (アクティマー®G) / エラストマーコンパウンド

圧縮永久歪、耐熱性、耐油性において、優れたゴム特性を発揮します。良好な成形加工性を有し、リサイクル成形も可能です。



RIVIC® (リビック®) / 内外装用加飾フィルム

自動車のデザイン性を向上させるフィルムです。木目印刷やメタリック色だけでなく、表面エンボス加工により、様々な意匠表現が可能です。

「インターナショナル ウッドワーキング フェア」に出展



開催日：2016年8月24日～27日
場 所：ジョージア・ワールドコンgresセンター（米国）

展示品紹介

RIKEN U.S.A. CORPORATIONは、米国ジョージア州アトランタにて開催されたインターナショナルウッドワーキングフェア（北米最大の木工に関する展示会）に出展し、家具用の化粧フィルムを中心に紹介しました。デスクトップ向け傷付き防止フィルムをはじめとし、マットフィルム、3D成形用金属調フィルムなど、新製品から定番製品まで幅広く展示しました。



製品の品質保証

品質保証本部長メッセージ



リケンテクノス株式会社
上席執行役員
品質保証本部長
田坂 道久

品質保証本部は、品質方針であります「顧客第一、品質第一を念頭に置き、信頼性の高い製品・サービスを提供する」をもとに活動しております。

品質保証本部によるチェック体制を強化し、世界中のどこでも同じ「リケンテクノス品質」を供給できるグローバル供給体制を継続・推進しております。「熱意と徹底で、不良ゼロ・労災ゼロを実現する」ことを目標に、国内・海外の連結子会社への品質監査を通じISO9001を軸にしたシステムの向上、5Sの推進、KYT(危険予知トレーニング)の強化、原材料と製品スペックの最新版管理を実施しております。その結果、関係者の品質への意識が高まり、高い顧客満足度を頂戴することができております。また、環境との調和に配慮した製品づくり、環境負荷物質および、廃棄物の削減を推進しております。

リケンテクノスはISO9001の仕組みを活用しています。各生産拠点に品質保証部門を置き、原材料受け入れから製品納入まで全工程の品質管理を徹底しています。さらに、毎月生産拠点・製造課ごとに品質改善委員会を開催し、不具合への是正処置について妥当性等を確認、必要に応じて再検討し、水平展開の指示等を行っています。

また、製品の開発段階より、お客様のご要望を満たし、安定した品質が得られる材料設計に注力し、新素材などの環境対応型製品も積極的に開発しています。

ISO9001(2015)登録証

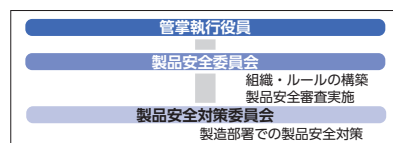
登録日:1998年9月14日 有効期限:2019年8月30日

安全に配慮した製品開発

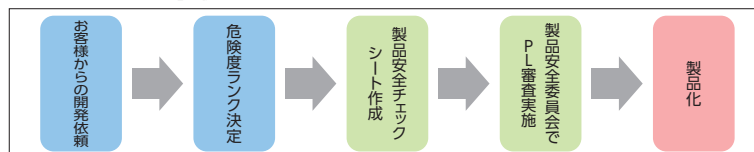
● 製造物責任(PL)対応

メーカーに課せられた使命として、リケンテクノス設立以来、製品の安全性に配慮してまいりました。また、製造物責任法の施行を機会に、1995年1月にPL問題の発生を防止するシステムを構築するなど、「製品の安全性」への取り組みをさらに強化しています。

● 製品安全組織



● 製品安全審査手順



化学物質の安全性の管理強化

● 規制対象化学物質の混入防止製造ライン

RoHS2指令*などの規制対象化学物質の混入を防止できる製造ラインとなっています。

*RoHS指令: 有害物質の電気・電子機器への使用を制限するため欧州規制で2006年から施行された指令(6物質規制)。RoHS2は2013年に施行され2015年改正、2019年から施行される指令(10物質規制)。

● 化学物質管理委員会の設置

「化学物質管理指針」を設定し、法律で禁止されている化学物質審査規制法(化審法)の第一種・第二種特定化学物質のほか、監視化学物質も使用禁止にしています。労働安全衛生上、避けるべき化学物質も自主的に削減しています。

クレームへの対応

2016年度は、変化点管理の運用およびその定着のために、①作業標準の見直し(時間管理)と訓練、②課題対応型から予防処置型への転換、を実施、QCパトロールによる作業標準の遵守確認と是正処置の継続確認、指差呼称を奨励強化してまいりました。その結果としてお客様に重大な損失をもたらした品質クレームはありませんでした。

株主の皆様のご支援に対し厚く御礼申し上げますとともに、何卒一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

▶ 株主総会に関する取り組み

リケンテクノスの株主総会は、より多くの株主様に出席していただけるよう、株主総会が集中する日程を避けて開催しています。

また、株主総会の議題を十分に検討いただくため、招集通知の早期発送と発送前のWEB開示を行っています。また、議決権行使を円滑に行っていただく取り組みとして、インターネットによる議決権行使も可能にしています。

▶ 配当に関する基本方針

リケンテクノスは、中長期的な企業価値の向上を通して株主還元を図ることを経営上の重要課題の一つと位置付けており、配当については、連結配当性向30%程度を一つの目安とした上で、今後の事業投資と自己資本の充実等も勘案し、安定的な配当を行うことを基本方針としています。

この方針に基づき、2017年3月期の期末配当金については、前期比1円増配の1株当り6円とし、中間配当金を含めた年間配当金は1株当り11円とさせていただきます。

基準日	1株当り配当金		
	中間	期末	年間
2013年3月期	4円00銭	5円00銭	9円00銭
2014年3月期	4円00銭	5円00銭	9円00銭
2015年3月期	4円00銭	5円00銭	9円00銭
2016年3月期	5円00銭	5円00銭	10円00銭
2017年3月期	5円00銭	6円00銭	11円00銭

▶ 情報開示について

リケンテクノスは、常に株主や投資家の皆様の視点に立った迅速、正確かつ公平な会社情報の開示を適切に行っています。皆様に事業活動の状況や戦略などへの理解を一層深めていただけるよう、東京証券取引所の適時開示基準以上の積極的開示に努めています。

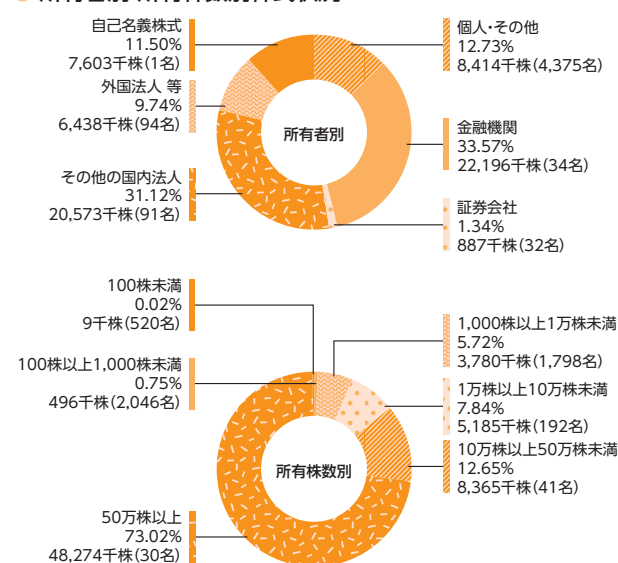
また、リケンテクノスホームページに財務・IRに関するページを設け、決算短信、有価証券報告書、その他の適時開示資料などを情報開示後（プレスリリース）、速やかにリケンテクノスホームページにも掲載しています。

▶ 株式状況・株主の構成(2017年3月31日現在)

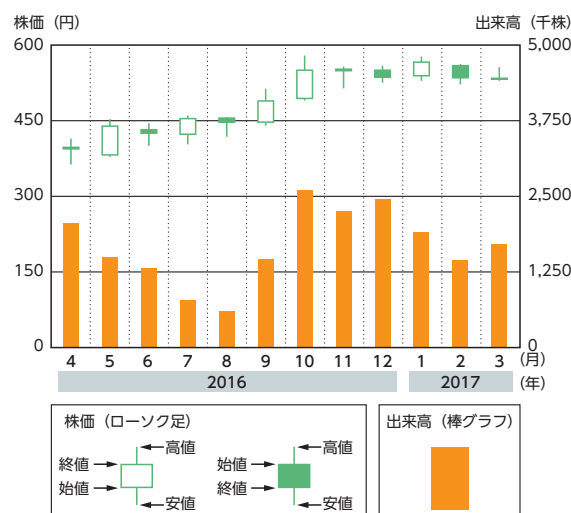
● 株式の状況

発行可能株式総数	236,000,000株
発行済株式の総数	66,113,819株
株主数	4,627名

● 所有者別・所有株数別株式状況



● 株価および出来高の推移



▶ 自己株式取得(2016年10月24日決議)結果

リケンテクノスは、機動的な資本政策の遂行および資本効率の向上のため、自己株式取得を実施しました。

取得した株式の総数	2,229千株
株式の取得価格の総額	1,218百万円

取得期間: 2016年11月1日～2017年3月31日

お取引先様とのかかわり

リケンテクノスグループでは、サプライチェーンを含めたより良い環境システム、品質システムの構築に努めています。また、コストダウンのために購買の窓口を広げ、競争力のある原料調達に努めています。

購買本部長メッセージ



リケンテクノス株式会社
執行役員
購買本部長
すげえ たかし
杉江 剛

購買本部は、資材・物流に係わる多くの物品に関して、お取引先様からご提案とご協力を頂きながら活動しています。それらは、国内外を問わずグローバルな視点に立ち、リケンテクノスが必要とするQCD(要求品質、最適なコスト、安定調達)及び安全・安心等を考慮した上で、お取引先様とパートナーシップを築きあげながら中・長期的なお取引が出来るように努めています。

また、海外拠点の拡大に伴い、各拠点の局所最適及びリケンテクノスグループの全体最適を考慮しながらグローバル調達も推進しています。3か年中期経営計画の2年目に入り経営方針である「ACT NOW! ACT TOGETHER! 2018」に則り、お取引先の皆様と切磋琢磨をしていきたいと願っております。

最後になりますが、お取引先様からの様々なご提案と情報をお待ちしております。

▶ リケンテクノスの購買方針について

① 公正な購買取引と選定

対等な立場で取引を行います。複数購買を原則とし、公正公平な参入機会を提供します。

② パートナーシップの構築

お取引先様と良好な人間関係を保ち、人間的尊厳を重視し不当な差別はいたしません。

③ 関連法令の遵守と自主管理

お取引先様との機密情報の取り扱いに留意し、社会的規範や関連法令を重視し、リケンテクノスグループ グリーン調達基準に基づき購入を行います。

④ お取引先様の状況

購入にあたり、特に「技術力」「競争力」「経営力」を考慮しています。

▶ リケンテクノスの購買体制について

リケンテクノスの購買業務は、本社購買本部の資材部と、各工場の業務課が行っています。

購買担当

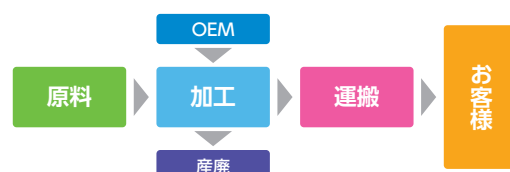
資 材 部 集中購買による原材料・原反・燃料・包装資材・高額設備関連など。

各工場の業務課 消耗品・貯蔵品・設備関連など。

▶ サプライチェーンマネジメント

お客様により安全で信頼性のある製品をお届けするため、お取引先様各社の協力を得て、サプライチェーンを含めたより良い環境システム、品質システムの構築に努めています。2016年度は、14社の原材料購入先、委託加工先、運送委託先、産業廃棄物処理委託先の環境を含めた品質監査を実施し、改善にご協力いただきました。

● サプライチェーン



▶ リケンテクノスグループ グリーン調達基準

環境に配慮した製品を提供していくためには、環境負荷のより少ない原材料や副資材を調達することが不可欠です。リケンテクノスは2004年度に環境関連物質に関する「グリーン調達基準」を策定し、ホームページ上に公開しました。さらに、2009年8月、連結子会社もこの基準の範囲に加え「リケンテクノスグループ グリーン調達基準」としました。

※詳細はリケンテクノスホームページをご覧ください。

適用範囲

リケンテクノスが調達する樹脂、可塑剤、安定剤、充填剤、強化剤、着色剤、フィルム基材、塗工剤、接着剤など直接製品を構成するものや、包装材、離形紙などの副資材など。

要求事項

- お取引先様における環境管理システムの構築
- 環境関連物質の管理等に関する環境パフォーマンスの達成
- リケンテクノスが指定した環境関連物質に関する調査および報告「RoHS2*10物質の測定データ」、化審法、安衛法、REACH等法令該当化学物質含有情報の提供

運用

原材料・副資材は、法令該当化学物質等の含有禁止物質が含まれていない、あるいは管理すべき物質の含有量が把握されているものを調達していきます。また、リケンテクノス評価結果により、お取引先様に対しより安全で環境負荷の少ない原材料・副資材への改善をお願いする場合があります。

リケンテクノスグループグリーン購入基準

文具・OA機器等の事務用品については「グリーン購入基準」を策定し、可能な限りエコ商品の購入を促進しています。

● 適用範囲

リケンテクノスの本社・支店・営業所・工場・研究開発センターで購入する紙類、文具、コピー機・パソコン等のOA機器や自動車等。

● 要求事項

「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に準じた環境負荷が少ない、有害物質を含有しない等の基準を満たすこと。

● 運用

お取引先様には、積極的にエコ商品を紹介いただけるようお願いしています。

*RoHS指令：P28注釈参照ください。

▶ 物流における環境への取り組み

- 製品納入の帰り車の利用による実車率の向上を目指します。
- 物流拠点の統廃合を行っていきます。
- 省エネ法による特定荷主としての義務を果たしていきます。中長期的にみてエネルギー消費原単位を年率1%低減を目標にしています。
- お客様からのパレットの回収による購入枚数の削減、森林資源保護のためプラスチック製への変更を推進しています。
- グリーン物流促進事業へ参加しています。

品質安全活動

- 提携運送会社によるISO9001の認証取得、Gマーク(安全性優良事業所)の認定取得を推奨しています。

亀山急送株式会社

グリーン経営認証

登録日:2007年1月19日 有効期限:2019年1月18日

株式会社モテギ

Gマーク登録証

登録日:2007年12月20日 有効期限:2019年12月31日

● 輸送量とCO₂発生量

輸送	2014年度結果	2015年度結果	2016年度結果
輸送量(t・km)	25,248,700	26,898,851	27,139,548
CO ₂ 発生量(t-CO ₂)	4,400	4,669	4,711

ISO9001登録証

登録日:2003年5月9日 有効期限:2018年5月8日

ISO9001登録証

登録日:2000年3月10日 有効期限:2019年4月1日

ISO14001登録証

登録日:2004年10月29日 有効期限:2019年4月1日

地域の皆様とのかかわり

リケンテクノスグループでは、地域社会との共生のために様々な取り組みを行い、事業活動へのご理解をいただいています。国内と海外での取り組みについてご紹介します。

国内での取り組み



環境への取り組み

埼玉工場



埼玉工場では、岡部駅までの線路沿いゴミ拾い(年2回)と、工場周辺ゴミ拾い(月1回)を行っています。

三重工場



かめやま会館(工コ)の森環境整備活動への協賛及び森林整備ボランティア活動へ参加しています。(年3回)

群馬工場



群馬工場では、安全パトロール時に工場周辺公道のゴミ拾いを行っています。(毎月)
また、太陽光発電により、再生可能エネルギーを使用しています。

進興電線株式会社



進興電線株式会社では、工場周辺の側溝を清掃しています。



東北復興支援物産展

一般社団法人希望の環による、東北復興物産展を開催しました。震災前の販路を失ってしまった生産者の方々から商品を購入することで、楽しみながら復興支援できるイベントです。販売員として産業能率大学の学生さんが来てくださり、生産者の方からは感謝状をいただきました。

本社



復幸缶詰(金華サバ味噌煮)



高校生による工場見学

地元高校生による工場見学を毎年実施しています。



三重工場

2016年4月～

4月

5月

6月

7月

8月

9月



工場周辺の交通巡視

三重工場



毎年2回、工場周辺で安全速度・一時停止・シートベルト着用確認・通行禁止区間の確認などの交通巡視を行っています。



貢献



次世代



交流



環境



消火栓操法

埼玉工場



埼玉県深谷市
イメージキャラクター
「ふっかちゃん」

深谷市消防本部の「第三十三回自衛消防隊屋内消火栓操法指導会」に出場しました。女子チームが、4位入賞しました。



研究開発センター（東京）



自衛消防隊訓練審査会にて、研究開発センター自衛消防隊が、敢闘賞を受賞しました。



駅伝・マラソン大会

三重工場



亀山市駅伝大会への協賛及び参加を行いました。

埼玉工場



ふかやシティハーフマラソンへの協賛及び参加を行いました。



名古屋営業所

児童養護施設等への クリスマスプレゼント

名古屋営業所を介し、市内の児童養護施設等の児童・生徒へ、クリスマスプレゼントとして寄付金をお送りしました。



2017年

10月

11月

12月

1月

2月

3月



近隣自治会の夏祭りへの協賛

埼玉工場



地域自治会の子ども神輿が、工場にやってきました。工場の守衛所前で休憩してもらったあと、記念写真を撮りました。

亀山市納涼大会への協賛及び参加

三重工場



企業の部へ参加し、フランクフルト、生ビールとともに、リケンファブプロのラップを販売しました。



インターンシップ

埼玉工場

三重工場



未来を担う高校生のために職場体験・インターンシップを積極的に実施しています。埼玉工場・三重工場ともにフィルムの製造工程、および設備保全の実習などを体験していただきました。2017年1月に実施した埼玉工場での職場体験記をご紹介します。

埼玉工場 熊谷工業高等学校 電気科生徒代表

4日間のインターンシップの中で特に学んだことは、2つあります。

1つ目は普段受けている授業が重要だということです。モータの配線作業のとき、授業でやっていることを基本に、まだ授業でやっていない難しいことや、複雑なことをしました。いつもなにげなく受けている授業ですが、今回のインターンシップを通して、今、受けている授業が将来とても大切なことだとわかりました。

2つ目は資格の重要性です。現場で働いている方々は、たくさんの資格を持っています。今のうちから沢山の資格を取るように勧められました。資格を持っていないとできない仕事が多かったり、なるべく多くの資格を持っていたほうがいいとわかりました。

今回学んだことに、積極的に取り組んでいこうと思います。

▶ 海外での取り組み

海外での取り組みとして、米国のRIKEN ELASTOMERS CORPORATIONとインドネシア国のPT. RIKEN INDONESIAの取り組みをご紹介します。

役員メッセージ



リケンテクノス株式会社
上席執行役員
RIKEN AMERICAS
CORPORATION 取締役社長 兼
RIKEN ELASTOMERS
CORPORATION 取締役社長
しまだ たかし
島田 高志

RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONは2006年設立以来、地域との密着に力を注いでおります。

地域の発展は人材の成長にもつながり、それにより企業もまた活性化します。この循環により健全な社会が維持されと考えています。

具体的には、ユナイテッドウェイという有名な慈善福祉団体への募金活動を会社及び従業員が行っております。また教育委員会のメンバーである従業員は、地域の学校を支えています。更には学生たちに企業の活動内容を教えるキャリアプログラムにも参加しています。

企業は人により成り立っていますので、地域への貢献は企業としてあるべき姿だと考えております。

▶ RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONの取り組み

RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONでは、社員が様々な活動を通じて、地域社会に貢献しています。今回は、リンダ・ケラーさん、レキシー・ホワイトさんとローラ・トーマスさんの活動をご紹介します。

教育支援協会(パートナーズ イン エデュケーション)のプログラムへ参加

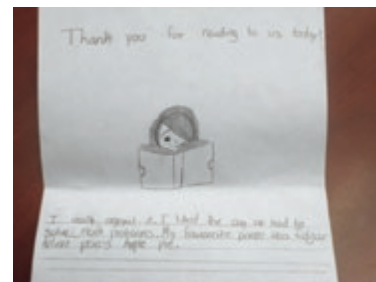
RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONは、学校体制を支える教育支援協会(パートナーズ イン エデュケーション)のプログラムへ参加しています。社員であるリンダ・ケラーさんは、郡の教育委員会の委員を務めています。RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONは、地域の学校と連携し、個別指導、ボランティア活動、お金や物資の寄付、テストの手助け、読み聞かせ、その他色々な活動を通して、教育体制を支援する地域密着型の企業です。また、地元学生のための就職フェアに参加し、大学や就職準備活動を支援しています。



ペンブローック小学校の生徒に読み聞かせをするリンダ・ケラーさん(右)



本について生徒と意見交換をするレキシー・ホワイトさん



生徒から贈られたお礼の手紙

商工会議所より産業部門賞を受賞

2017年2月21日、RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONは、商工会議所より、産業部門賞を受賞しました。この賞は、地域で雇用創出やエコドライブに貢献した人を認定するものです。

RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONのローラ・トーマスさん(左)と、南西ケンタッキーを拠点とするエコノミック・ディベロップメント・カウンスル社ディレクターのリアナ・ウォレンスさん(右)



役員メッセージ



リケンテクノス株式会社
執行役員
PT. RIKEN INDONESIA 取締役社長
佐藤 敏幸

PT. RIKEN INDONESIA（通称：RAPINDO）は、ジャカルタの中心部より東へ約30kmのMM2100工業団地※¹に1995年に設立されました。創業当初より地域住民の皆様とのかかわりを大切にして、活動を行っております。主な活動として、毎年秋に行われる犠牲祭（ムスリムのお祭り、動物を生贄として捧げ祝う）には、牛、羊を寄付して周辺の村民とともに犠牲祭を行っております。また、周辺の村や孤児たちへの寄付を通じて、周囲の皆様との良好な関係を保っております。今年はMM2100工業団地へ協力して、マングローブの植樹作業にも参加しております。今後も地域の皆様へ貢献していきたいと思っております。

▶ PT. RIKEN INDONESIAの取り組み

MM2100工業団地主催の、ブガシ湾へのマングローブ植樹にPT. RIKEN INDONESIAのダダンさんが参加しました。今回は初めての参加です。植樹を行うにあたり、1,000本のマングローブの木を寄付しました。

Voice



PT. RIKEN INDONESIA
人事部
ダダン イスカンダルさん

MM2100工業団地の事務所から車に4時間、船に1時間半乗り、植樹を行うパンタイバハギア村へ到着しました。川をボートで渡っている間、川の周辺でどのような生活が営まれているのかを見ることができました。いまだ多くの村人が、川の水を、公衆浴場や洗い場、トイレの水として利用する不便な生活を送っています。また、この村では、マングローブの森があった場所がエビの養殖所に変えられてしまい、森林の持つ貯水機能を失ってしまったことが、洪水の原因となっています。そのため、多くの村人が村を離れ、村がさらなる貧困に陥る原因となりました。

村へ到着すると、村人たちとLSM※²が、マングローブの木の植え方と、養苗場の場所を教えてくださいました。植樹場所へ辿り着くには、深さ40cmもの泥沼がある湿地を通らなければならない、苦労しました。やっとの思いで植樹場所に到着し、村人の助けを借りながら、参加者全員で14,150本のマングローブの木を植えました。MM2100工業団地は、我々が植えたマングローブの樹は、いまでは水面から5cmのところまで成長したと知らせてくれました。

マングローブ植樹は、私にとってまったく初めての体験でした。私はとても楽しかったですし、我々の経済バランスを保つための環境保護の一助となれたことを光栄に思いました。

※¹ MM2100工業団地：プカシ地区において最もジャカルタから近い工業団地。

※² LSM：Lembaga Swadaya Masyarakatの略。インドネシアの非政府組織。



植樹をしている様子



植樹場所へ向かう船に乗っている様子



参加者で記念写真

横断幕には、PT. RIKEN INDONESIAの社名も

▶ 次世代の応援

リケンテクノスは、次世代を応援するため、「夢らぼ」という番組を2015年4月より制作しています。番組で紹介する学生たちは、皆エネルギーに満ち溢れ、高い志を持っています。彼らを突き動かすものは、何なのか？夢を抱くに至ったそのルーツとは何なのか？そこに迫っていきます。

彼らの夢は、まだ道半ばです。試行錯誤を繰り返しながら何とか進んでいく様は、まさに「夢の実験室」。

どんな未来を切り開いていくのか、彼らの活動から目が離せません。リケンテクノスは科学の力のチャレンジメーカーとして、これからも頑張る学生を応援します。



①夢らぼに出演しての感想

インタビュー形式で自身の今までの活動をお話できることは大変貴重な機会でした。放送を見てくれた関係者や友人からの反響もあり、自身の活動を発信することの大切さをこの機会に感じることができました。



あしかり せいや
荒刈 辰矢 さん

②今の活動、今後の活動

食料問題の解決のために昆虫を飼料として活用するための研究開発に励んでいます。昆虫飼料は新しい飼料原料として養魚飼料や養鶏飼料としての活用が期待できます。特に現在、水産養殖において使われている魚粉という飼料原料は大変高騰しており、生産者の大きな悩みの種となっています。また魚粉は海の有限な小魚を粉末化したもので、持続的なものではありません。そこで経済的にも環境的にも持続可能な昆虫飼料でこれらの問題を解決することが私の夢です。「魚で魚を育てる」水産養殖の常識を昆虫科学の力で脱却させることを目指しています。今後はこれ



まで培ってきた研究の成果を実際にビジネスとして実用化することを進めていきます。自らが開発した昆虫飼料を水産養殖の生産者に活用してもらえるように今後も活動に励んでいきます。昆虫飼料を食べて育った安心な美味しい養殖魚を消費者に受け入れてもらう社会の実現にはまだまだ課題もありますが、夢の実現のために頑張ります。

お二人の活動についてはこちらから

www.yume-lab.jp

①夢らぼに出演しての感想

それぞれの分野で頑張っている同世代の皆さんに並んで、夢らぼに出させていただきとても嬉しく思っています。改めて自分自身の活動を振り返る機会となりました。放送後は、地方の方からも反響をいただきました。より多くの方に応援いただくことができたこと、とても嬉しく思っています。これからの未来を創っていく世代として、共に連携をしていきたいと思っています。今後もよりよい社会に向けて、自分自身にできることを精一杯積み重ねていきたい、気が引き締まる思いがしました。



におり ひなえ
新居 白南恵 さん

②今の活動、今後の活動



今後も「家族留学」をはじめとして、家族の幸せに貢献できる事業に取り組んでいきたいと思っています。家族留学は、若者が子育て中のご家庭を訪問し、子育て体験と対話を通して、多様なロールモデル

に出会うライフキャリアプログラムです。全国22の都道府県に広がっています。また、今後は企業との連携を拡大したいと考えています。2020年までに指導的地位に占める女性の割合を30パーセントにする目標があります。家族留学には、出産後も仕事を続け、発展させていきたいという意志を持った方が多く参加しています。そして、ロールモデルの不在により、就業継続に不安を抱えています。このような女性たちの活躍の場を作るためには、採用と育成において、企業側の様々なサポートが求められてくると思います。manmaでも、女性の活躍を後押しするために、当事者の声を反映した、女性活躍のためのプログラムや研修等を提供していきたいと思っています。

今までに出演された学生の皆さん

チャレンジ

#27: 千場 清裕
東京理科大学理工学部情報科学科 2年

#31: 吉野 裕斗
名古屋大学教育学部附属高等学校 3年生

#35: 山本 つばみ
大阪府立箕面高等学校 3年

#40: 新居 日南恵
慶應義塾大学法学部政治学科 4年生

#44: 寺島 美花
横浜国立大学教育人間科学科 2年生

#48: 小山 優輝
大阪府立箕面高等学校 3年

#52: 矢澤 瑞季
明治学院大学薬学部薬学科 4年

サポート

#28: 星 賢人
東京大学大学院 情報学環教育部 2年

#32: 水野 翔太
法政大学法学部政治学科 4年生

#36: 中村 大知
北海道大学教育学部 4年

#41: 足立 壮太郎
青山学院大学理工学部 3年

#45: kirara
岐阜県立星峰高等学校 1年

#49: 根来 みのり
千葉大学薬学部薬学教育環境科学科 2年

応援

#29: 清原 優太
東京大学経済学部経済学科 4年

#33: 川口 真実
慶應義塾大学看護医療学部 3年

#38: 水谷 駿介
名城大学経営学部経営学科 1年

#42: 大澤 咲希
慶應義塾大学法学部 2年

#46: 小知和 建吾
芝浦工業大学大学院理工学研究科修士 1年

#50: 芳村 賢士朗
日本大学理工学部 3年

夢

#30: 草刈 晟矢
早稲田大学商学部 4年生

#34: 木明 翔太郎
北海道大学法学部 4年生

#39: 川口 巧
日本体育大学体育学部 3年

#43: 久保 直生
青山学院大学国際政治経済学部 3年

#47: 武村 佳奈
大阪教育大学教育学部教員養成課程 3年

#51: 谷口 友望
東海大学 工学部航空宇宙学科 3年

RIKEN TECHNOS Presents

— "チャレンジ"する学生の想いに迫る —

2016 夢らぼ

DREAM LABORATORY

番組ナビゲーター 永岡 レイナ
夢らぼテーマソング「ゆめいろ」小貴 涼

番組映像は公式HPで配信中!
www.yume-lab.jp

毎週土曜 夕方6時55分 放送

BS12 トゥエルビ

制作協力: 3512ch TwitV
制作・演出: リケンテクノス株式会社
制作協力: 27N 音楽

従業員とのかかわり

リケンテクノスグループでは、社員一人ひとりが「仕事を通じて成長する」ことを目指しています。また、より良い環境で働くことができるよう様々な制度を設けています。

管理本部長メッセージ



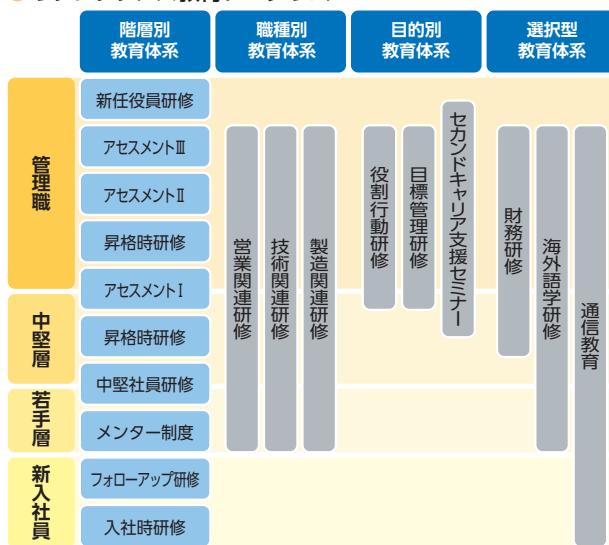
リケンテクノス株式会社
取締役 常務執行役員
管理本部長 兼 総務部長
いりえ 淳二

リケンテクノスは現3ヵ年中期経営計画初年度であった2016年度に執行役員制度を導入し、また監査等委員会設置会社へ移行いたしました。真のコーポレートガバナンス強化を実現するためには、体制整備に加え、従業員一人ひとりが成長・進化を続け企業基盤をしっかり支えることが必須であります。リケンテクノスは「活力ある組織風土の醸成」を実現すべく、若手社員の積極登用等人事制度の見直し、また「働き方改革」を実感できる業務改革の推進、ワークライフバランスを向上させる制度の創設に取り組んでおります。「戦略的な人材育成による企業基盤の強化」を着実に実現すべく、管理本部は取り組んで参ります。

人材育成の考え方

企業の成長は、社員一人ひとりの成長によって支えられています。「私たちは応援します!自ら成長しようと努力する人を!」をスローガンに、努力している社員を応援し、社員も会社も成長していく相互成長の関係を築ける体制づくりを行っています。その施策として、自己申告制度を導入して一人ひとりの志望・要望と元気度などを面談を通じて把握し、より成長できる環境づくりにつなげています。また、会社の求める人材像として「自立・創造・実践できる人」を掲げ、各人が役割に応じた行動を確実に実践するように人事制度上も役割行動考課を導入し、「仕事を通じて成長する」ことを図っています。これらの活動を通じて、社員一人ひとりが成長し、会社が目指している高付加価値型企業基盤の確立の実現へつなげています。

リケンテクノス教育プログラム



経営層の育成

リケンテクノスでは、経営層の育成にも力を入れています。多様な考え方を知り、「使える経営スキル」を習得する機会を提供すべく、グロービス・マネジメント・スクールへの派遣も実施しています。

Voice /



経営企画部 経営戦略グループ グループリーダー 吉野 孝志さん

経営に係わる基礎知識習得のため、グロービス・マネジメント・スクールに通っています。マーケティング講座では市場や競合、自社を知る重要性や視点を変えた観察の必要性を認識し、現在は財務諸表から企業の分析、状態を理解するためにアカウンティング講座を受講しています。講座では、金融、食品、建設、医療と異なる業界の方々が集い議論するため、自社と異なる見識に触れることができました。講座で得たものを現職場で活かし、また関係部署との共有化も進めていきたいと考えています。

▶ 研修制度

● 新任管理職研修

新たに管理職に就いた社員を対象に、実践力を持ち、強いリーダーシップを発揮させることを目的とした新任管理職研修を実施しています。約半年をかけて、計5回の研修を行うことで、管理職としての心構えや戦略的思考を体得します。今年は20名の社員が参加しました。



研修の様子

● 洋上研修

外部機関の主催する洋上研修に毎年参加しています。洋上研修を通して、リーダーとしての役割を学ぶと同時に、企業の枠組みを超え、様々な人と交流する機会を設けています。今年参加した社員5名の声をご紹介します。



研修船の「カーニバル・インスピレーション号」

Voice/



埼玉工場 コンパウンド製造課 こばやし ようすけ 小林 洋介さん

多種多様な職種の方々との討議や共同生活を通して、たくさんの学びや気づきを得ることができました。たくさんの方とコミュニケーションを取る中で、改めてリケンテクノス ウェイにもある「大事に聴いて本気で話す」事の大切さを感じました。このような学びを得ることができる洋上研修を継続していただき、今後もたくさんの方にこの素晴らしい経験をしていただければと思います。



埼玉工場 フィルム製造一課 しまだ のぶゆき 島田 伸之さん

異業種の方と交流できたことは自分にとって大変貴重な経験となりました。また、8日間と長い研修期間の中で、協調性やコミュニケーションが重要と再認識しました。研修で学んだことを活かして仕事に取り組んでいきたいです。今後も洋上研修を継続していただきたいです。



三重工場 コンパウンド製造二課 いとう しんや 伊藤 信也さん

今回の洋上研修で多種多様な職種の方々との議論を行い、意見交換させていただいたことは私自身の考え方に変化をもたらし、視野が広がりました。また、研修中に学んだ「なぜなぜ分析」を品質、設備に関する不具合発生時に活用します。



三重工場 フィルム製造課 はっとり ひろき 服部 弘樹さん

この洋上研修で、異業種の方たちとコミュニケーションが取れたことは、私にとって大きな刺激となり勉強になりました。コミュニケーションが上手く取れると、皆が楽しくなることを学びました。この学んだことを実践し、風通しが良い職場づくりを目指したいと思います。



群馬工場 フィルム製造課 かねこ だいすけ 金子 大介さん

研修報告会で、私が参加した班は「若年社員の人材教育」をテーマに発表を行いました。発表の内容よりも、我々自身が話し合いをする中で相互啓発を行い、少しずつですが成長できたのかなと思い、その過程をおもしろいと感じました。この経験を今後の仕事に活かし、「人の成長」につなげていきたいと思っています。

経営理念の浸透

経営理念である「リケンテクノス ウェイ」を社員に浸透させるため、4つの制度を設けています。そのうちのひとつ、「サンキューカード」制度は、社員同士で感謝の気持ちを表すもので、海外拠点でも導入が進んでいます。サンキューカードを多くもらった社員および、多く贈った社員への表彰を行っています。2016年度の受賞者は、全員三重工場の社員でした。

Voice/

贈られた人NO1



由田工場長

三重工場 フィルム製造課 落合 雅司さん

この度は、誠にありがとうございます。このような栄誉は自分に縁のないものと思っておりましたので、正直驚いています。

この栄誉は、決して自分だけの成果ではないと思います。これまで自分を指導し、育てていただいた先輩社員と、自分を支えてくれた同僚のお蔭だと実感しております。今後も多くの人たちとの絆を大切に、仕事に取り組もうと思います。

最後になりましたが、たくさんの方のサンキューカードを送ってくださった方々に、心よりお礼申し上げます。

贈った人NO1



三重工場 フィルム製造課
かざま のぼる
風間 昇さん

贈られた人NO2



三重工場 フィルム製造課
おおさき ひろみつ
大崎 洋亮さん

贈られた人NO3



三重工場 フィルム製造課
まえがわ ようすけ
前川 陽亮さん

表彰制度

リケンテクノスでは表彰規程や職務発明規程を設けています。業務の効率化や企業体質の改革、社員のモチベーション向上につながる改善提案や、新技術の発明などに対して表彰を実施しています。



社長賞授賞式の様子
左から、常盤社長、
上海理研塑料有限公司(表彰時) 林 峰雄さん、
電材ビジネスユニット 齋藤 真一さん

～功労者表彰～

自動車電線用コンパウンド オンリーワン拡販戦略

CO₂削減と燃費向上のため、
自動車用ハーネスの軽量化が求められています。

そこで、被覆材を薄肉化しながらも、
耐寒、耐熱、耐摩耗等の性能を
維持できるコンパウンドをタイムリーに
開発できたことを讃え、表彰されました。

▶ 子育て支援

● 育児休業制度

最長2年間の休業ができます。さらに育児休業の最初の3日間は有給としています。現在、3名の社員が利用しています。

● 育児短時間勤務制度

育児をしている社員が、1日6時間まで勤務時間を短縮できます。家庭や保育園などの個別事情に応じた働き方が選べます。小学校入学前まで利用できる制度です。現在は2名の社員が利用しています。

▶ 社員の多様性への対応

リケンテクノスは社員の多様性、人格、個性を尊重し、人権および雇用機会均等などにも配慮をしています。リケンテクノスでは女性が活躍できるような様々な取り組みをしており、現在、女性管理職もおります。また、外国人の採用も積極的に行っています。

▶ 再雇用制度

定年(60歳)を過ぎた従業員の更なる活躍は、会社にとっては技能伝承の面で、社員にとっては生活の安定という面で、双方にメリットがあります。そこでリケンテクノスグループでは2006年度から組合員層、管理職層を対象にした再雇用制度を導入しています。

進興電線株式会社の取り組み

進興電線株式会社の社員5名が、10年以上勤務し、勤務内容も良好かつ他の模範となっている社員として、入間市商工会より表彰されました。2016年11月24日に式典が執り行われました。中でも、勤続55年の白倉房治さんは、特別永年勤続表彰を受賞しました。

入間市商工会 優良社員表彰



しらくら みさじ
白倉 房治さん(左から2番目)

入間市表彰



かねこ たかし
金子 隆 さん

入間市商工会 優良社員表彰



わたなべ ひろこ
渡邊 宏子さん



つるた てつろう
鶴田 哲郎さん



わたなべ まさお
渡邊 正雄さん

安全衛生活動

安全衛生の考え方

リケンテクノスは、人間尊重を基本とし労働安全衛生を企業活動の最も重要な基盤のひとつと考え、健康で安全な職場環境の維持向上に努めます。OSHMS*に沿った労働安全マネジメントシステムにて活動しています。

「リスクアセスメント」による

危険・有害源撲滅活動の定着

2003年にリスクアセスメントを導入後、職場に潜在している危険・有害要因を排除・隔離し、リスクを低減させる未然防止型の改善活動が定着しました。「災害ゼロ」から「危険ゼロ」となるように、安全意識向上と危険改善・システム改善の活動を全員参加で進めています。

労災件数

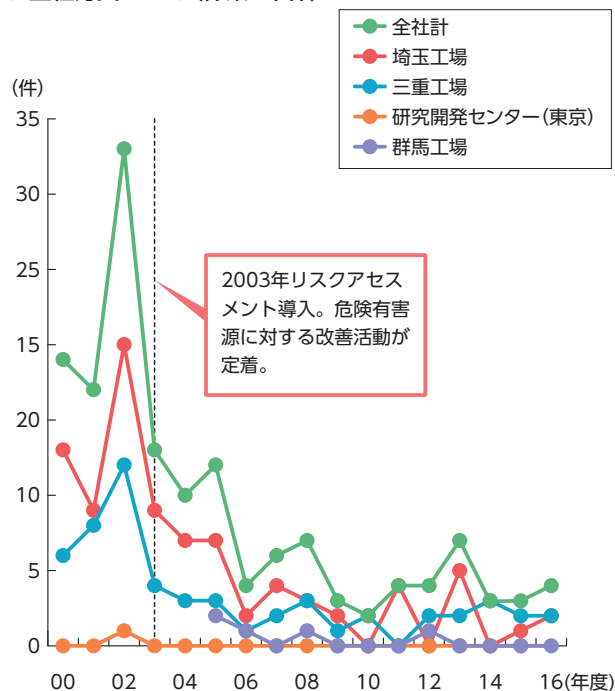
最近の労災件数は、2014年度3件、2015年度3件、2016年度4件でした。

活動の見直し

2016年度は、「災害ゼロ」を目標に、リスクアセスメント、ルール遵守の風土・文化づくり活動を進めました。具体的には、化学物質を含めたリスクアセスメントの更なる推進、指差呼称の習慣化・始業前のストレッチ体操の徹底、安全意識向上のためのアンケート実施と危険体験機器を利用した安全教育の継続等です。

2017年度は、「災害ゼロ」に向け、昨年の活動事項の継続と安全提案表彰の実施、新しい危険体験機器の導入、ヒヤリハット報告強調月間の実施等を進めます。

全社労災トレンド(休業+不休)



*OSHMS：労働安全衛生マネジメントシステム。継続的な安全衛生管理を自主的に進めることにより、労働災害の防止と労働者の健康増進、さらに進んで快適な職場環境を形成し、事業場の安全衛生水準の向上を図ることを目的とした安全衛生管理の仕組みです。



危険体験機器を利用した安全教育



危険体験機器を利用した安全教育

▶ 2017年入社の皆さん

リケンテクノスの将来を担う新入社員の皆さんに、リケンテクノス ウェイのコアバリューにある「仕事を楽しみワクワクする」をテーマに、「〇〇だったら、ワクワク」という用紙に、自分なりの「〇〇だったら」を書いてもらいました。



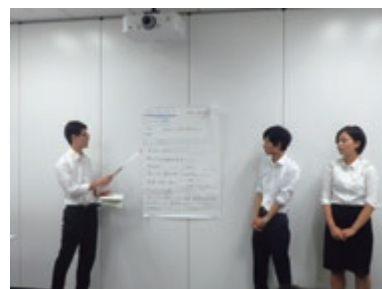
▶ フォローアップ研修

入社して3カ月目に、振り返りとフォローアップを目的として、2日間のフォローアップ研修を実施しています。

講習を受講するだけでなく、入社後3カ月間の業務内容についてグループワークを行い、発表します。研修のカリキュラムを通じて、多くの学びや気づきを得たようです。



受講の様子



発表の様子



環境管理活動

製造本部長メッセージ



リケンテクノス株式会社
執行役員 製造本部長
おしむ ひろひと
興水 宏人

製造本部は、グローバルで戦える体制を構築するために、世界同一品質および安定供給の実現を目標に取り組んでいます。そのために積極的な海外拠点への派遣、技能オリンピック、TPM導入による3ゼロ達成(クレーム・労働災害・重大設備事故)、グローバルに活躍できる人材育成に努めております。更に、各工場では、生産効率向上とコスト削減を目標に取り組んでいます。

環境活動の取り組みとしては、省エネ化、廃棄物の削減、化学物質の適正管理推進、工場隣接地域の清掃等の地域美化に貢献しています。

環境方針

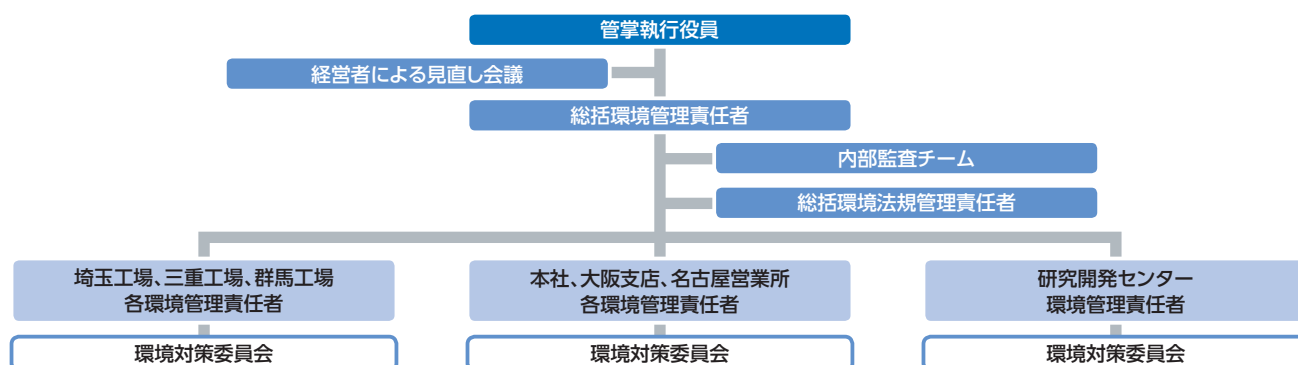
あらゆる企業活動において環境との調和に配慮し、地球環境の保全と持続可能な社会を実現するために、環境マネジメントシステムを構築し、全員参加のもとに次の事を実施します。

- ① 事業活動において、環境関連法規及びその他の合意事項の遵守のみならず、自ら規定類を定め、環境管理レベルの継続的改善、環境汚染の予防及び環境保全の支援を推進します。
- ② 安全性の確保された原材料を使用し、省エネ・省資源型製品、リサイクル適合製品、生物多様性及び生態系への負荷の少ない製品等の環境に配慮した、さまざまな素材のプラスチック製品等を社会に供給します。
- ③ 持続可能な資源の利用、気候変動の緩和と対応に関して、可能な限り無駄を削減し、原材料の有効活用、使用エネルギーの極小化に努め、二酸化炭素排出量の削減と産業廃棄物の削減を行い、地球環境・生物多様性及び生態系への負荷を軽減します。
- ④ 環境方針を含め社内規定類を文書化し、社員への教育・啓蒙活動により、継続的な環境保全活動の定着化を図ります。
- ⑤ 環境方針達成のために環境目的及びできる限り数値化した目標を設定し、定期的に自己評価を行い、進捗を適時管理します。
- ⑥ 以上の活動をリケンテクノスグループの活動に結び付け、各拠点における地域環境・生物多様性及び生態系保全に最大の配慮を行い、安全な操業を確保します。
- ⑦ 適切かつ正確な情報開示を行い社会からの信頼と理解を得ることに努めます。

環境マネジメントシステム

環境マネジメントシステム組織図

管掌執行役員がトップに立ち、総括環境管理責任者の指揮のもと、各サイトに環境管理責任者を置き環境マネジメントシステムを構築しています。



▶ 推進体制

環境マネジメントシステムを推進するため、主要な会議、委員会等の構成メンバー、機能を明確にしています。

会議、委員会名	構成メンバー	機能
経営者による見直し会議	全取締役、執行役員、総括環境管理責任者	方針、目的および環境マネジメントシステムの妥当性評価
内部環境監査チーム	有資格内部監査員	適合性監査の実施
環境対策委員会	環境管理責任者、各部門長、各部門委員	環境目的・目標の設定、是正処置・予防処置の審議、環境問題の審議

▶ 総括環境管理責任者と環境管理責任者の役割

全社総括管理と各サイト管理の責任を明確にしています。

責任者名	役職名	役割
総括環境管理責任者	マネジメントシステム部長	全社の環境マネジメントシステムの構築・実施・維持
総括環境法規管理責任者	マネジメントシステム部長	環境関係法規等の管理
環境管理責任者	サイトの責任者(工場長等)	サイトの環境マネジメントシステムの構築・実施・維持

▶ 品質・環境の監査の体制

(1) 内部監査

総括環境管理責任者の指示のもと、約100名の内部監査員によって毎年1回、品質、製品安全、化学物質管理をはじめとした環境マネジメントシステムの内部監査を行っています。2016年度は58部署で監査が実施され、22件の是正処置要求書が発行され、観察事項を含めると216件の指摘件数がありました。是正処置件数は昨年度35件から22件に減り、文書管理・設備管理に改善がみられました。是正処置の実施により引き続きマネジメントシステムの改善・確実な実施を図っていきます。

(2) 外部監査

外部審査機関のISO9001・14001審査機関による更新審査を、全サイト(本社、大阪支店、名古屋営業所、研究開発センター(東京)、埼玉工場、三重工場、群馬工場)を対象に受審致しました。軽微な不適合6件、改善事項20件の指摘がありました。指摘があったフロン排出抑制法の対応等について改善致しました。また、2016年度は21社の顧客監査を受けました。指摘事項につきましては、適切に改善を実施しました。

▶ 緊急時対応

各サイト・各部門で想定し得る緊急事態を定め、緊急事態対応一覧表を作成し、定期的に訓練を実施しています。

リケンテクノスは多量の化学物質・消防法危険物を原材料として購入・使用しています。そのため、化学物質の社外への流出防止および消防法危険物起因の火災予防を最重点課題として取り組んでいます。2016年度は可塑剤の漏洩がありましたが、工場外への流出はなく、訓練どおり対処されました。また、近隣からの苦情はありませんでした。

▶ ISO14001(2015) 認証取得

環境との調和に配慮した企業活動を通じ、豊かな社会の実現に貢献し、すべてのステークホルダーからの信頼に答え得る企業の構築に取り組んでいます。

環境方針を設定し、全社全部門にて同規格を認証取得しています。

初回登録 2001年10月31日 有効期限 2019年8月30日



活動結果の概要

2016年度環境目標と実績

リケンテクノスは毎年環境方針を基に、事業環境に見合った環境目標を設定し、改善活動を進め、二酸化炭素(以下CO₂)の排出量削減、産業廃棄物の排出量削減そして化学物質の管理強化を主テーマとして全社横断的に取り

組んでいます。

2016年度は、全社各部署合計で156件の目標が設定され、124件(80%)が達成されました。

(1)エネルギー源使用量削減

目標設定件数	達成件数	目標	結果
66	48(73%)	①電気使用量の生産量比 2012年度比4%削減 ②重油使用量の生産量比 2012年度比4%削減 ③CO ₂ 排出量の生産量比 2012年度比4%削減 ④総CO ₂ 排出量 2012年度比4%削減	①6.4%削減で達成 ②30%削減で達成 ③6.0%削減で達成 ④0.0%で未達成

(2)廃棄物削減

目標設定件数	達成件数	目標	結果
36	28(78%)	単純(埋立・焼却)廃棄物量の総生産量比:0.15%以下 総廃棄物量の生産量比:4%以下	埋立・焼却廃棄物量の総生産量比は0.12%で達成 総廃棄物量の生産量比は3.9%で達成

(3)①化学物質管理の強化と②環境配慮型製品の開発

	目標設定件数	達成件数	目標	結果
①	18	17(94%)	独自に指定した化学物質の使用削減。環境配慮製品の開発。	①化管法第一種指定化学物質の2016年度使用量は1,968tで、2015年度比4%増加しましたが(生産量増加)、ビスフェノールAの2016年度使用量は2015年度の79%を削減しました。 ②リサイクル好適材は、2016年度売上量は、2015年度比8%増加しました。
②	22	18(82%)		

リケンテクノスの環境負荷の状況

リケンテクノスの事業活動からは、産業廃棄物の排出、温室効果ガス(CO₂)の排出、化学物質の排出・移動が大きな環境負荷項目として挙げられます。各々排出削減や適正管理に努めています。リケンテクノス全事業所(単体)での環境負荷実態を記載します。

● 生産に係わる製品 1t当たりのCO₂負荷量(2016年度)

インプット		アウトプット		CO ₂ 負荷量(t-CO ₂ /t)	
原材料(塗料等含む)	88,000t	コンパウンド製品	65,000t	コンパウンド	0.23
梱包資材	2,800t	フィルム製品	14,000t	フィルム	0.97
電気	65,600MWh	包装用ラップ製品	8,200t	包装用ラップ	0.55
重油	2,430kl	総廃棄物	3,600t		
水道水	132,300m ³	排水量	271,000m ³		
地下水	157,000m ³				
工業用水	8,600m ³				

ストック汚染・公害防止の取り組み

各サイトでは、環境法規制および自主規制監視項目について定期的に測定を実施しています。項目として排ガス、地下水、騒音、振動、臭気、放射線、粉塵などがあり、特に騒音対策に配慮しています。各工場では近隣住民の皆様と懇談会を定期的に開催し、環境測定値の公開、工場内の査察の実施を通じリケンテクノスの事業活動へのご理解をいただいています。

省エネルギーと温室効果ガスの排出削減

リケンテクノスは埼玉工場、三重工場が第一種エネルギー管理指定工場、群馬工場は第二種エネルギー管理指定工場に指定されています。

リケンテクノスの事業活動から生じる温室効果ガス*1の主なものはCO₂です。

設備の稼働効率向上、蓄熱式脱臭炉導入、空調機のデマンド制御*2導入、工業用圧縮空気や蒸気の漏れ防止管理、省エネ照明へ切替え等の省エネ活動を推進しています。

長年、CO₂排出量削減に主眼をおいて目標を展開してきましたが、近年、電力に関するCO₂換算係数が大きく変動することから、2014年度より、2012年度を基年度として、エネルギー源使用量の生産量比を、毎年1%削減することを目標としました。2016年度は2012年度比で4%

目標のところ、電気使用量の生産量比6.4%削減、重油使用量の生産量比30%削減を達成しました。

2015年末に重油ボイラーから都市ガスボイラーに変更したことが、重油使用量削減やCO₂排出量の削減、大気汚染の低減につながっています。

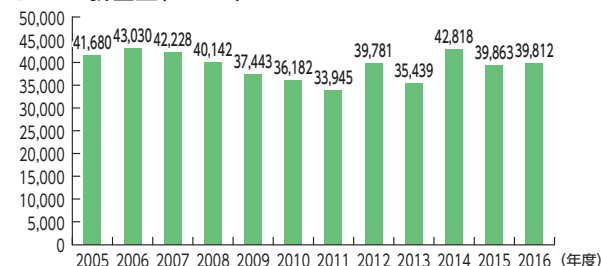
2013年3月、群馬工場の隣接地で再生可能エネルギーである太陽光発電設備が稼働を開始しました。

2016年度は、群馬工場に約7万kWh供給し、約72万kWhを売電しました。



リケンテクノス株式会社
ソーラー発電所(群馬工場の敷地内)

● CO₂排出量(t-CO₂)

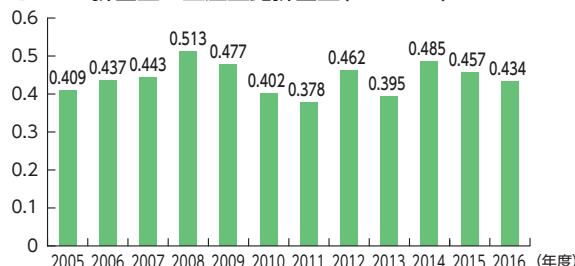


※ 2010年度から調整後の排出係数を使用した値です。

*1 温室効果ガスは、埼玉工場、三重工場、群馬工場、研究開発センター、本社および各営業拠点で使用した電気、重油等の消費によるCO₂排出量を算出しました。2005年度より本社を、2008年度より各営業拠点を含みCO₂排出量を計上しています。物流における石油燃料消費のCO₂排出量は除いています。

*2 空調機のデマンド制御とは、電力会社との契約電力の最大値に近づいた時、自動的に空調機の圧縮機を停止させ電力の消費を抑える制御方法をいいます。

● CO₂排出量の生産量比排出量(t-CO₂/t)



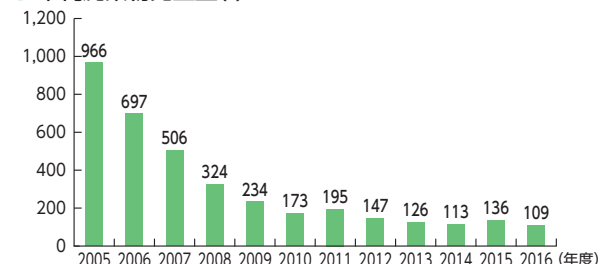
廃棄物の削減

リケンテクノスは、製造段階で発生する単純(埋立・焼却)廃棄物の削減を環境管理活動の主要課題に位置付け、2014年度から新たな目標「単純廃棄物量の生産量比0.15%以下、総廃棄物量の生産量比4%以下に抑える」ことを目標に取り組みました。工程改善による歩留り向上等により、廃棄物の発生そのものの抑制を図るとともに、発生し

た廃棄物に関しては分別を徹底し、マテリアルリサイクル、サーマルリサイクル、RPF(プラスチック由来の固形燃料)、セメント原料化等の有効利用への転換を図っています。

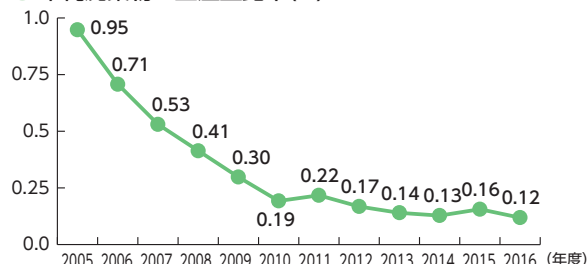
単純廃棄物量の生産量比は、0.15%以下に対し0.12%。総廃棄物量の生産量比は、4.0%以下に対し3.9%で共に目標達成致しました。

● 単純廃棄物発生量(t)



*埼玉工場、三重工場、群馬工場、研究開発センター(東京)で発生した単純廃棄物量です。

● 単純廃棄物の生産量比率(%)





化学物質の適正管理

リケンテクノスは、従来から化学物質審査規制法、労働安全衛生法や消防法等に基づき、化学物質管理を実施しています。

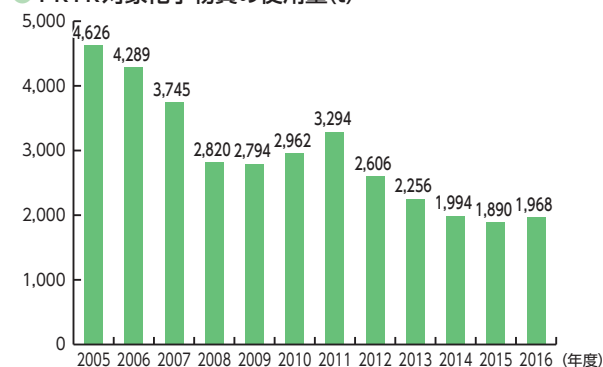
1999年度には管理徹底のため集計システムを構築し、更に2001年4月施行の化学物質排出把握管理促進法（化管法）PRTR制度に対応できる体制を整えました。

2009年10月には、化管法が改正施行され、PRTR対象化学物質の種類変更があり対応しました。

そのため、2010年度より新対象化学物質の使用や排出量等の集計を実施し、2011年度には、A重油に含まれるメチルナフタレン使用量も集計に追加しています。2011年度は、リケンテクノス連結子会社のRIKEN（THAILAND）CO., LTD.が洪水被害に遭ったことにより、日本国内において生産支援を行いました。その結果、化管法第一種

指定化学物質の使用量が3,294tと著しく増加しました。2012年以降は、著しい増減はありません。PRTR対象化学物質の使用種類数は、2016年度21種類でした。うち1t以上使用し国へ届け出したものは6種類でした。

● PRTR対象化学物質の使用量(t)



PCB廃棄物の保管状況

2001年7月、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」（PCB*1特別措置法）が施行されました。埼玉工場、三重工場、研究開発センター（東京）の3事業所で保管していたPCB廃棄物については、全て処置完了しました。

また、1989年以前の重電機器には微量のPCBが含有された絶縁油が使用されている可能性が高いため、使用中のコンデンサ・トランスを順次、調査分析を進めています。

*1 PCB: PolyChlorinated Biphenyl (ポリ塩化ビフェニル) の略称

事業所名	PCB廃棄物	保管と処理状況
埼玉工場	高圧コンデンサ 15台(高濃度)	2016年度処理完了
	高圧トランス 2台(低濃度)	2015年度処理完了
	PCB含有廃水・廃油 1,446l(低濃度)	
三重工場	高圧トランス 4台(低濃度)	2014年度処理完了
	PCB含有廃油 350l(低濃度)	
	PCB含有ウェス 300g(低濃度)	
研究開発センター(東京)	高圧コンデンサ 12台(高濃度)	2013年度処理完了
	高圧トランス 1台(低濃度)	
	PCB含有廃油 330l(低濃度)	
	PCB含有ウェス 15kg(低濃度)	

従業員の環境教育・啓発の実施状況

2008年度から、エネルギーの大切さ、地球温暖化（CO₂排出削減）への意識向上を図ることを目的に、従業員とその家族を対象に、日常生活における「エコライフDAY」アンケートを実施しています。2016年度は従業員とその家族から（夏：1,267名、冬：1,365名）回答が寄せられ、一人当たりの平均CO₂削減量は（夏：950g-CO₂/日、冬：1,010g-CO₂/日）でした。また、CSR報告書を社員全員に配布し、一人ひとりの活動結果がおよぼすリケンテクノス全体への影響を理解するよう啓発しています。

	参加者数(名)	削減量(g-CO ₂ /人・日)
2013年度夏	1,432	837
2013年度冬	1,576	750
2014年度夏	1,474	760
2014年度冬	1,480	960
2015年度夏	1,497	920
2015年度冬	1,365	960
2016年度夏	1,267	950
2016年度冬	1,365	1,010

事業活動に係わる環境法規・協定

各生産拠点、各営業拠点での遵守すべき環境法規・協定等およびその概要を「環境適用法規基準」にて明確にし、環境法規の遵守を徹底しています。2015～2016年度は、フロン排気抑制法遵守に力を入れました。

また、埼玉県地球温暖化対策計画制度・目標設定型排出量取引制度への対応を行い、第1次計画のCO₂削減目標（基準年の6%削減）をクリアーし、第2次計画のCO₂削減目標（基準年の13%削減）も順調に推移しています。

▶ 特定化学物質規制への対応

原材料管理については、欧州におけるREACH*1への対応、また日本における化学物質に関する諸規制の改正への対応をより充実するため、化学物質含有情報シートを改正し、2015年10月からRoHS2*2の10物質(従来のRoHS6物質に加え2019年7月規制のフタル酸エステル類4物質)の測定データ、微量残留化学物質を含めた規制対象化学物質の含有情報を収集することにしました。そして連結子会社への適用も明確にし、「リケンテクノスグループ グリーン調達基準」としました。

お客様に安心・安全な商品を提供することは、メーカーの使命であり、使用する化学物質の安全性を確保すること

はリケンテクノスの重要課題として捉え、2006年度に全社横断的な組織である「化学物質管理委員会」を新たに設置しました。『化学物質管理指針』を設定し、法律で製造・使用が禁止されている化学物質はもちろん、化学物質審査規制法の監視化学物質なども使用禁止とし、鉛やトルエンなど法律で使用禁止となっていない化学物質についても、労働安全衛生上使用を避けた方が安全と思われるものは、自主的に削減することを明確に意志表示しました。さらには、新規採用化学物質の審査などを実施し、全社を挙げて安全性最優先の商品を提供する仕組みを構築していきます。

*1 REACH: 欧州における化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規則
*2 RoHS2: P28注釈参照ください。

▶ 生物多様性

化学物質審査規制法第一種・第二種特定化学物質および監視物質の不使用、PRTR第一種指定化学物質の使用削減等に取り組み、また大気汚染防止法、水質汚染防止法、労働安全衛生法等を遵守して、人への影響、生態系への影響を配慮した製品開発、生産、販売を実施しています。また、工場緑地の整備、森林整備ボランティア活動への参加を行っています。



▶ 環境会計

リケンテクノスは、環境保全活動への取り組みに関する会計情報を2006年度より開示しています。

▶ 2016年度環境会計の集計基準

- (1)集計範囲: リケンテクノス全事業所(単体)
- (2)対象期間: 2016年4月1日～2017年3月31日
- (3)参考文献: 『環境会計ガイドライン2005年版』(H17.2環境省発行)

▶ 2016年度環境会計の総括

2016年度は、環境保全コスト投資額約0.6億円、費用額約10.1億円で合計約10.7億円でした。投資額の内訳は公害防止・地球環境保全・資源循環コストです。費用額ではRoHS指令対応のための分析費用やISO維持活動等があり、環境配慮型製品の研究開発費用が約8.7億円と非常に大きなウエイトを占めています。

活動の結果の環境保全効果として、単純埋立・焼却廃棄物は生産量比0.15%目標に対し0.12%で達成しました。総廃棄物量は生産量比0.4%目標に対し0.39%で達成しました。CO₂排出量については、継続的な省エネ活動を

行いましたが、2012年度比4%削減目標に対し増減なしで未達成でした。生産量の増加が主要因です。一方、電力原単位(電気使用量MWh/生産量t)は、2012年度比4%削減目標に対し6.4%削減で達成。重油原単位(重油使用量kl/生産量t)は、2012年度比4%削減目標のところ30%削減で達成しました。省エネ活動(省エネ設備投入や効率生産の工夫等)の効果が見られました。

廃プラ等の有価売却・省エネ等による費用削減等で約1,200万円の経済効果を得ることができました。



● 環境保全コスト

単位:千円

分類	調査対象の取り組みの内容	投資額*1	費用額*2
1.事業エリア内コスト		54,617	102,656
*公害防止コスト	騒音対策工事、飛散防止設備の維持管理	4,740	52,317
*地球環境保全コスト	省エネ設備の導入・改善	49,877	0
*資源循環コスト	産廃処理、リサイクルコスト等	0	50,339
2.上・下流コスト	製品含有化学物質分析費用	5,457	15,600
3.管理活動コスト	CSR報告書発行、ISO維持活動(外部審査費用) 排水・VOC分析、構内緑地管理費等	0	16,664
4.研究開発コスト	環境配慮型製品の研究開発費	0	871,561
5.社会活動コスト	工場周辺美化活動費、寄付金	0	1,013
6.環境損傷対応コスト	土壌調査改質費	0	1,385
合計		60,074	1,008,879

*1 投資額：対象期間中の環境保全を目的とした支出額で、その効果が数期にわたって持続し、その期間に費用化されていくもの
 *2 費用額：環境保全を目的とした財・サービスの費消によって発生する費用または損失

● 環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標	2015年度	2016年度
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	総エネルギー投入量(GJ)	745,045	761,599
	種類別エネルギー投入量	電気(MWh)	63,790
		重油(kl)	2,844
		都市ガス13A(km ³)	190
		ガソリン(kl)	39
		軽油(kl)	5
	PRTR管理対象物質投入量(t)	1,861	1,968
	水資源投入量	水道水(m ³)	129,489
		地下水(m ³)	154,372
		工業用水(m ³)	11,229
事業活動から排出する環境負荷および廃棄物に関する環境保全効果	温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	39,860	39,800
	PRTR管理対象物質排出量(t)	5.0	7.1
	PRTR管理対象物質移動量(t)	6.8	13.6
	廃棄物等総排出量(t)	3,605	3,550
	廃棄物最終処分量(t)	136	109
	排水量(m ³)	268,200	298,075
事業活動から産出する財・サービスに関する環境保全効果	有価リサイクル量(t)	1,716	1,801
その他の環境保全効果	製品等の輸送量(t・km)	26,898,800	27,139,500
	輸送に伴うCO ₂ 排出量(t)	4,669	4,711

● 環境保全対策に伴う経済効果

単位:千円

効果の内容	金額	
	2015年度	2016年度
プラスチック・紙屑等の再資源化による利益	5,796	5,939
省エネ等による費用削減	8,317	6,399
合計	14,113	12,338

● 資産除去債務について

2017年3月末現在 単位:千円

資産除去債務に関する会計処理は2010年4月1日より適用が開始されました。現時点での環境関連法令規定による資産除去債務を、次のように把握しています。

費用内容	処理費用
建物原状回復費	67,814
石綿使用部位の処理費	30,608
PCB使用設備更新費	0
土壌汚染処理費	59,041
合計	157,463

リケンテクノスグループ環境データ

リケンテクノス工場別環境データ

● 埼玉工場

- 敷地面積：58,739m²
- 事業内容：塩化ビニル樹脂をはじめとする各種熱可塑性樹脂のコンパウンド、フィルムおよびラップフィルムの製造
- 従業員：231名

● 三重工場

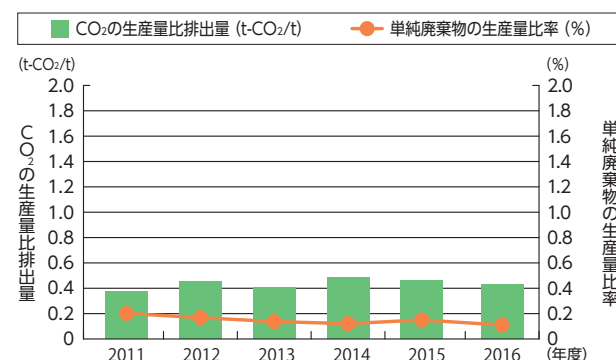
- 敷地面積：55,247m²
- 事業内容：塩化ビニル樹脂をはじめとする各種熱可塑性樹脂のコンパウンド、フィルムおよびラップフィルムの製造
- 従業員：211名

※埼玉工場、三重工場にはリケンファブロ株式会社の活動も含んでいます。

● 群馬工場

- 敷地面積：55,904m²
- 事業内容：クリーン環境下での高性能フィルムの製造
- 従業員：39名

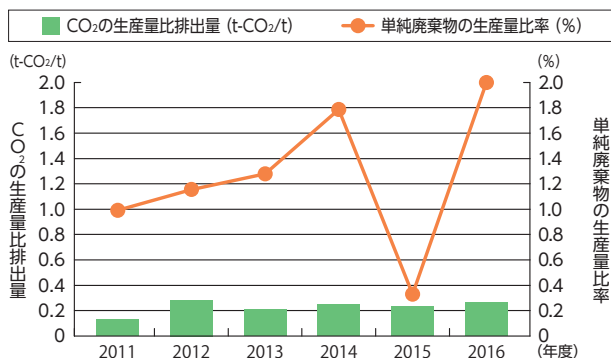
● CO₂の生産量比排出量と単純廃棄物の生産量比率 (埼玉工場、三重工場、群馬工場の合計)



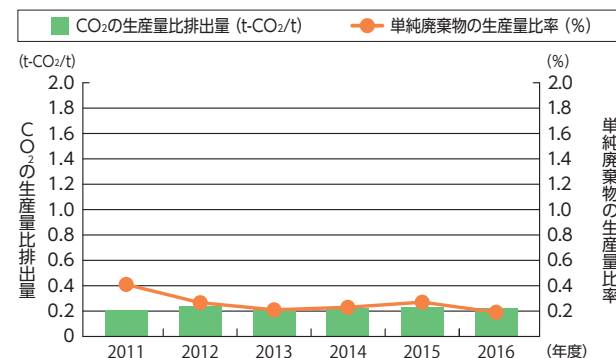
リケンテクノス連結子会社環境データ

① コンパウンド製造会社

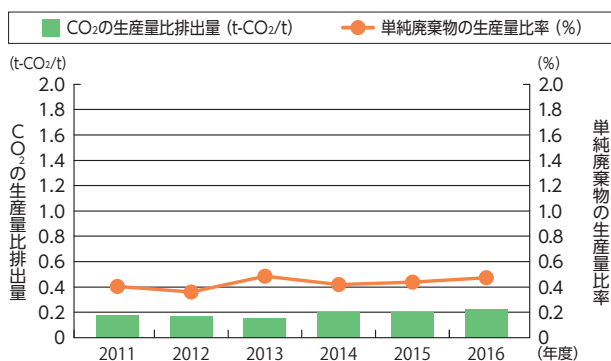
リケンケミカルプロダクツ株式会社 従業員数 59名



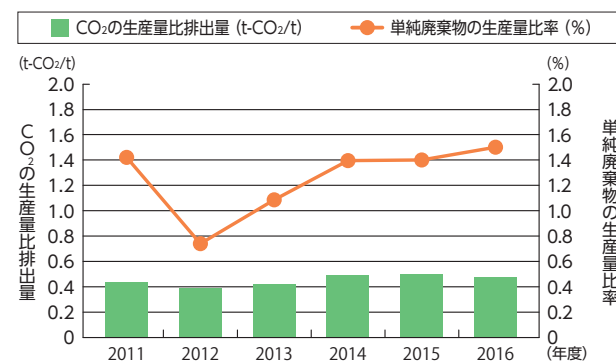
RIKEN (THAILAND) CO., LTD. 従業員数 237名



RIMTEC CORPORATION 従業員数 112名



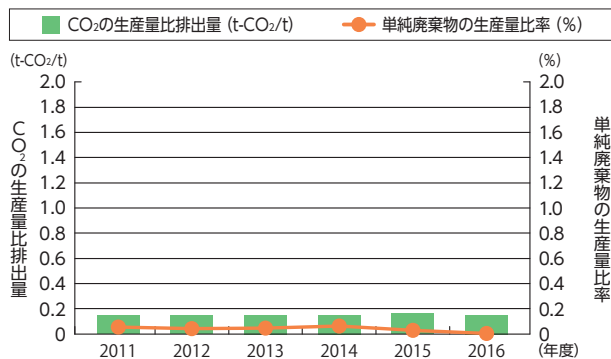
RIKEN ELASTOMERS CORPORATION 従業員数 29名



活動結果の概要

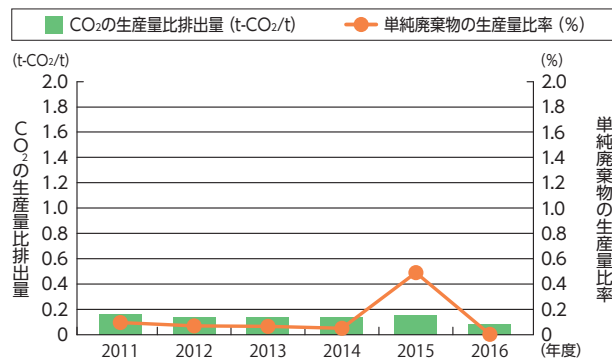
PT. RIKEN INDONESIA

従業員数 202名



上海理研塑料有限公司

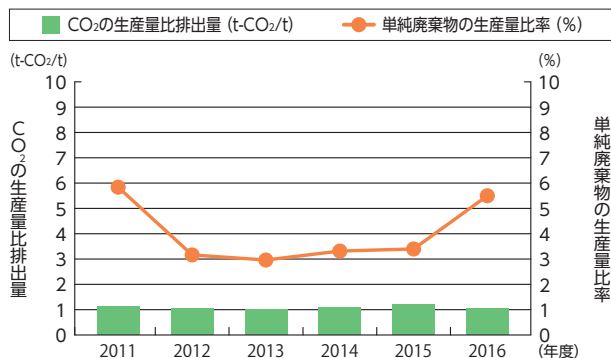
従業員数 115名



②成形会社

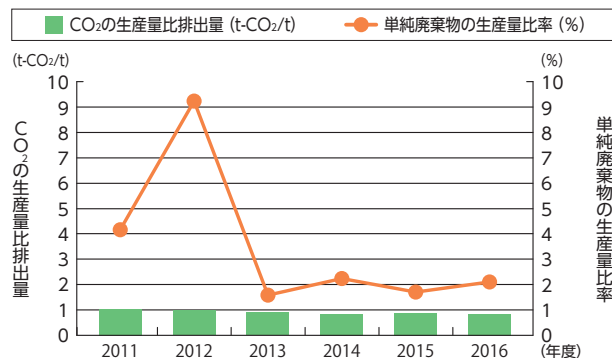
進興電線株式会社

従業員数 72名



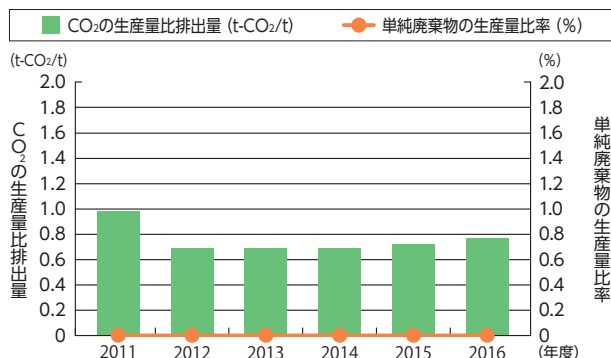
株式会社協栄樹脂製作所

従業員数 68名



理研食品包装 (江蘇) 有限公司

従業員数 57名



有識者の意見



アマタ株式会社
シニアコンサルタント
いのまた よういち
猪又 陽一氏

昨年の有識者の意見では、①グローバル化に伴う国際スタンダードへの対応、②CSR課題に対する重要度(マテリアリティ)の設定、③環境制約下における「本業で取り組むCSR」であるCSV(Creating Shared Value)の事業化を提言させて頂きました。

昨年の総括を踏まえて、今年のCSR報告書を読み終えた第一印象は、国際スタンダードへの対応で大きな飛躍が見られた点です。特にISO26000、SDGsを意識した報告書作りがされているのは大変素晴らしいことです。トップメッセージの中でも国際社会の一員としての責任が触れられていますし、各ページの上部には、ISO26000における「7つの中核主題」とSDGsにおける「17の目標」がしっかりと対応付けされています。読者からも貴社が国際社会に貢献していることを理解できたのではないかと思います。

次に印象に残ったのは、報告書全体における社員の登場回数が昨年よりも多くなっている点です。特集ページでは、営業や技術の担当社員が自動車や建物などで使用されている貴社の製品について解説したり、役員がステークホルダー別に総括していたり、2017年の新入社員が紹介されたりと、最終的に最も大事にしているステークホルダーは社員であることが十分に伝わってきました。特に、昨年は国内でも企業における過剰な残業が問題になり、社員の働き方に注目が集まった年でした。今後は、社員の労働環境の整備に加えてダイバーシティや

LGBTへの対応など、持続可能な企業を目指すための組織力強化が必要になってきます。やはり社員がいきいきと働いている企業には優秀な人材が集まってきますし、今回の報告書が会社の姿勢を伝えるにはとても良い機会であったと思います。

今見てきたように、今年は国際スタンダードへの対応を意識した報告書になりましたが、今後、更に貴社らしさを伝えるために、来年に向けて2点提言させて頂きたいと思います。1点目は昨年も指摘しましたが、「中期経営計画とCSRの取り組みの一体化」です。来年度は中期経営計画の最後の年度でもあり、SDGsを更に事業へと昇華させるためにもCSRをいかに経営に融合させていくのが重要になってきます。貴社がCSR課題の中で何にプライオリティを置いているのかを表明すべきだと思います。そして、中期経営計画の中でCSRにおける明確な指標を盛り込むことも検討すべきです。更に、国際社会へ貢献するために、国連グローバルコンパクトなどの国際イニシアティブへの参加など、積極的に取り組むべきでしょう。

2点目は、サプライチェーン上でのCSR課題に対する取り組みです。今年は、ISO20400(持続可能な調達に関する手引)が発行されたり、また、2020年は東京オリンピックが開催されることもあり、ロンドンオリンピックで実施された「サステナブルな調達」が継続され、企業には調達面におけるCSR課題の解決が求められてきています。仮に、貴社の原材料が今後使用できなくなった場合に、事業は持続的に続けられるのでしょうか?特に海外では、国内ではあまり見られない児童就労のような人権問題などが多く起きています。今後、貴社のビジネスがグローバル化すればするほど、社会からの期待が高まりますし、様々なリスクが起る可能性が出てきます。改めて、サプライチェーン上でのCSR課題のリスクを洗い出して、必要であれば早急に対処すべきだと思います。今後、更なるCSRへの取り組みを期待しております。

有識者の意見を受けて

リケンテクノス株式会社 代表取締役 社長執行役員 **常盤 和明**

2017年版のCSR報告書の特集では、当社の技術がどのような形で皆様の生活の中で活かされているのかを社員の声と共にご紹介しました。社員がそれぞれの持ち場で役割を果たし、チームワークによって世に送られたリケンテクノスグループの技術は、色々な場所で活かされていることをご理解いただけたら幸いです。

また、猪又様のご指摘を真摯に受け止め、経営課題とCSRへの取

り組みとの一体化について、よりわかりやすくご報告できるよう努めてまいります。特に原料調達については、メーカーである当社にとっては生命線ともいえます。持続可能な社会を目指す上で、リケンテクノスグループにとって原料調達に関する課題は、さらに重要性を増してきます。このような課題も含め、これからもステークホルダーの皆様と共に課題解決に努めてまいります。

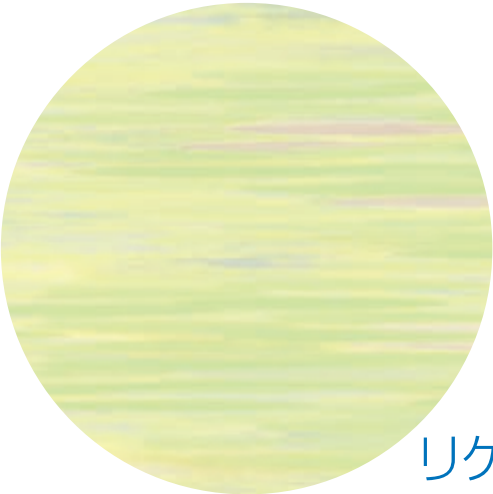
編集後記

3か年中期経営計画の経営方針の中に、「すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指して」という言葉があります。リケンテクノスグループはこの実現に向け日々努力しております。この進捗が伝わりやすいよう本報告書では、写真や簡潔な文章を多く用いております。

本報告書を通じてリケンテクノスグループの取り組みをご理解いただくとともに、本報告書への率直かつ忌憚のないご意見を賜りますようお願いいたします。

本報告書取扱部署代表者
取締役 上席執行役員 経営企画本部長 : 梶山 学之
編集メンバー
品質保証本部 マネジメントシステム部 : 井上 宏一、栗原 仁
経営企画部 企業ブランディンググループ : 吉岡 さやか、宮村 かおり





リケンテクノス ウェイ

私たちは科学の力で
豊かさ、安心、快適を創り出す
チャレンジメーカーです
独創的で卓越した
樹脂素材の配合加工技術で
企業と人と社会に
新たな価値と喜びを提供し続けます

We are a challenger
that harnesses the power of science
to improve the quality of life
and create a safe, affluent society.
We continuously provide new value and satisfaction
to people, companies and society
through our original and superior formulations
and manufacturing technologies of multiple resins.



お問い合わせ先

この報告書の内容に関するご意見、お問い合わせは下記で承っています。

リケンテクノス株式会社 経営企画部

〒101-8336

東京都千代田区神田淡路町二丁目101番地 ワテラストワー

TEL: 03-5297-1631 FAX: 03-5297-1660

ホームページ

<http://www.rikentechnos.co.jp>

2017年9月発行

